

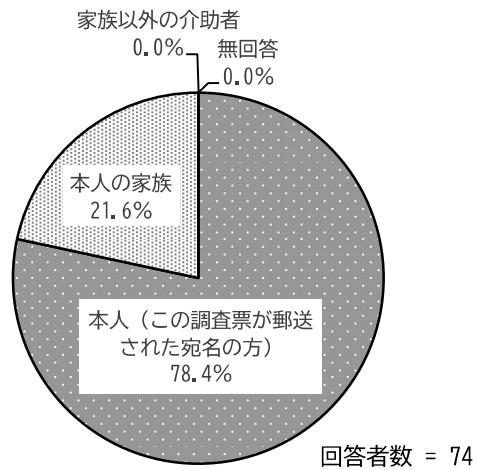
4 発達障害のある方を対象とした調査

4 発達障害のある方を対象とした調査

(1) 回答者属性

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(○は1つだけ)

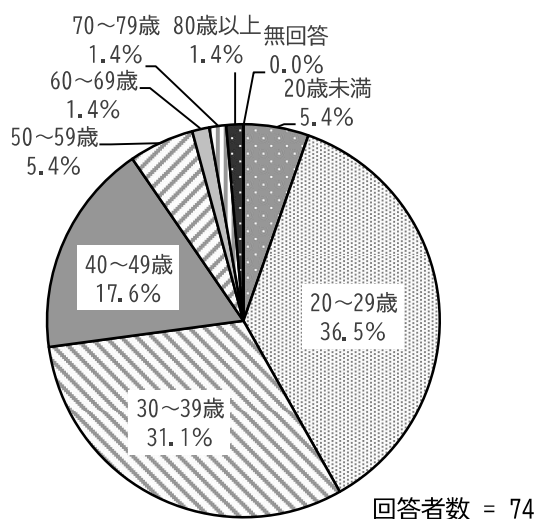
「本人（この調査票が郵送された宛名の方）」の割合が 78.4%と最も高く、次いで「本人の家族」の割合が 21.6%となっています。



(2) あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

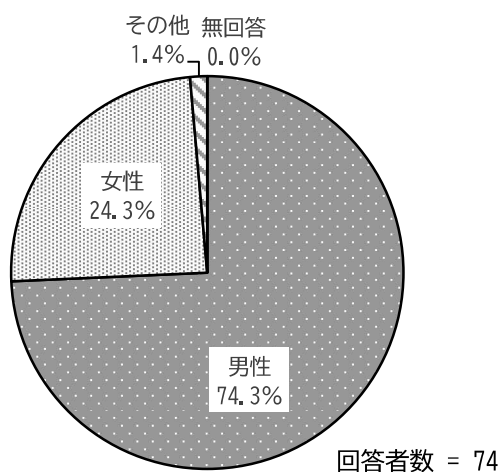
問2 あなたの年齢をお答えください。(令和4年10月1日現在)

「20～29歳」の割合が36.5%と最も高く、次いで「30～39歳」の割合が31.1%、「40～49歳」の割合が17.6%となっています。



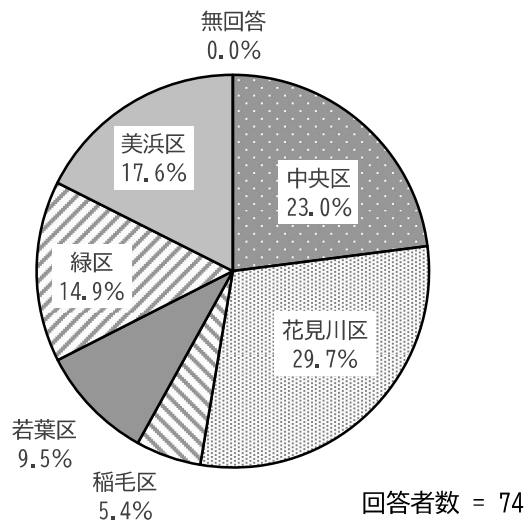
問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

「男性」の割合が74.3%、「女性」の割合が24.3%となっています。



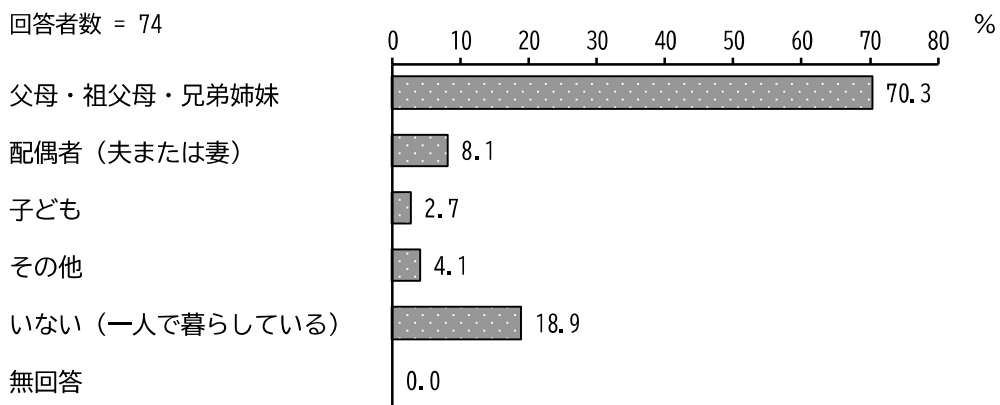
問4 あなたがお住まいの区はどこですか。(○は1つだけ)

「花見川区」の割合が29.7%と最も高く、次いで「中央区」の割合が23.0%、「美浜区」の割合が17.6%となっています。



問5 いま、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

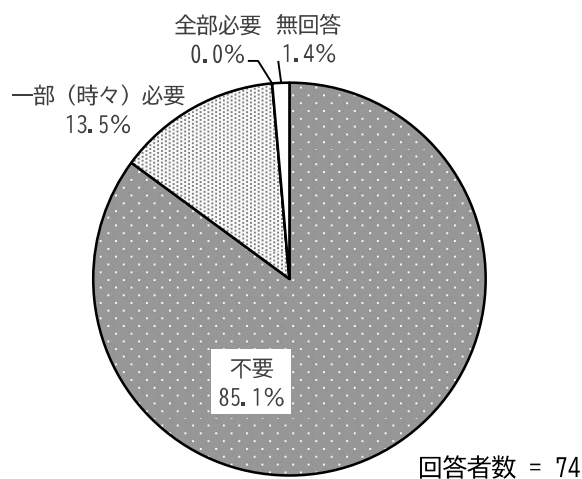
「父母・祖父母・兄弟姉妹」の割合が70.3%と最も高く、次いで「いない(一人で暮らしている)」の割合が18.9%となっています。



問6 日常生活の中で、次の支援が必要ですか。①から⑪のそれぞれにお答えください。(①から⑪それぞれに○を1つ)

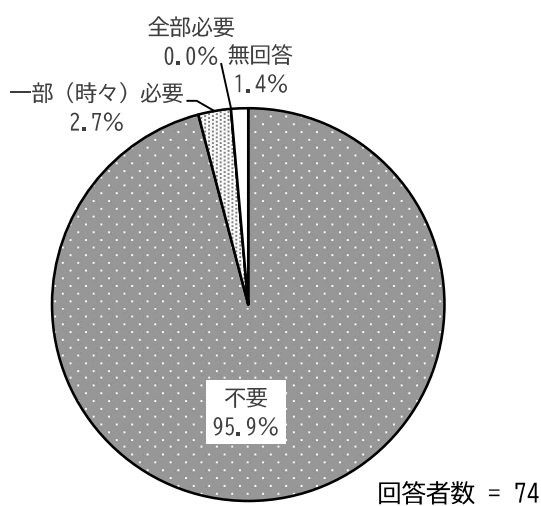
①食事の介助

「不要」の割合が85.1%と最も高く、次いで「一部(時々)必要」の割合が13.5%となっています。



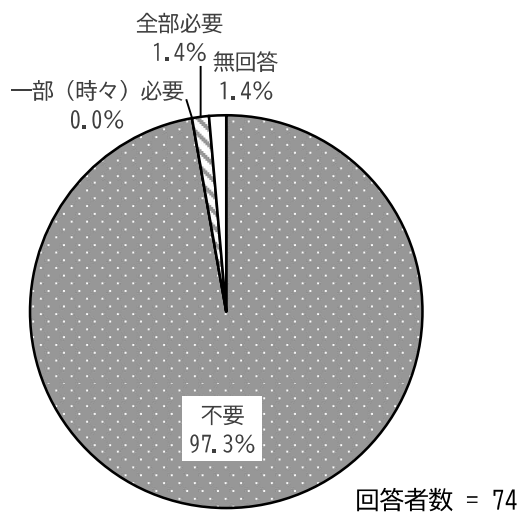
②トイレの介助

「不要」の割合が95.9%と最も高くなっています。



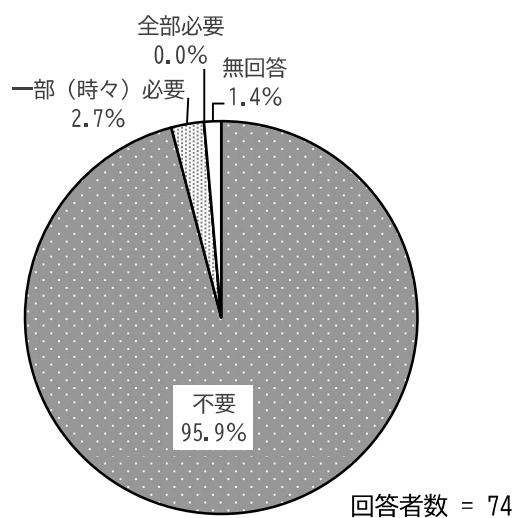
③オムツの利用

「不要」の割合が97.3%と最も高くなっています。



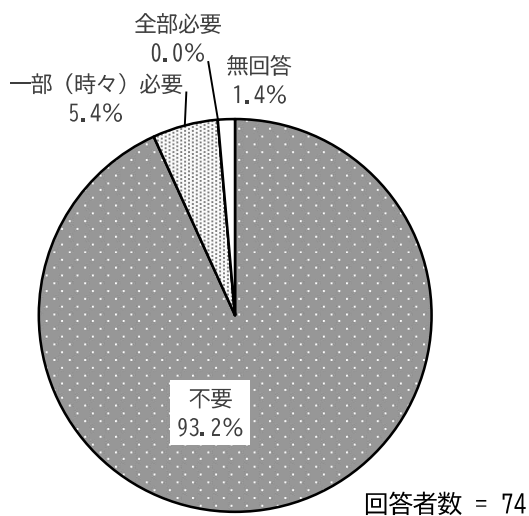
④入浴の介助

「不要」の割合が95.9%と最も高くなっています。



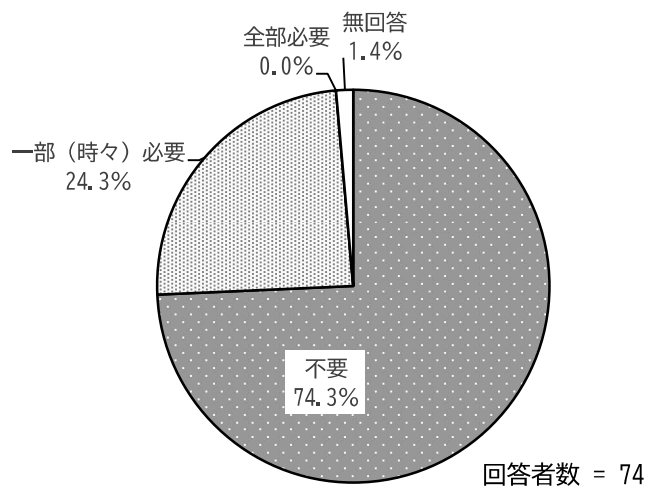
⑤衣服の着脱の介助

「不要」の割合が93.2%と最も高くなっています。



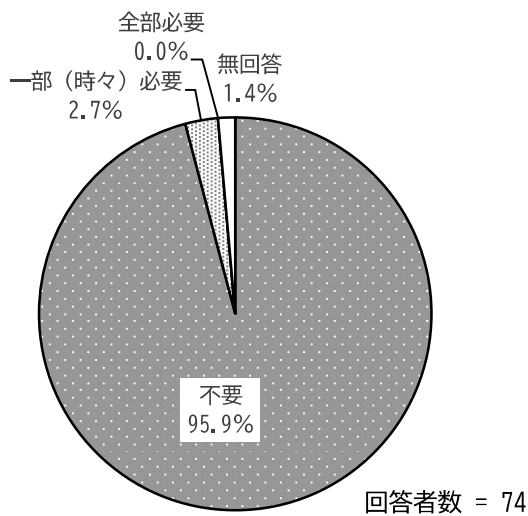
⑥身だしなみの介助

「不要」の割合が74.3%と最も高く、次いで「一部(時々)必要」の割合が24.3%となっています。



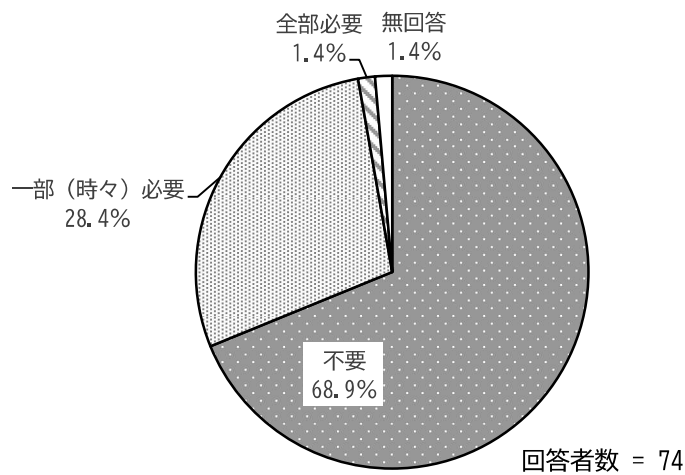
⑦家中の移動の介助

「不要」の割合が95.9%と最も高くなっています。



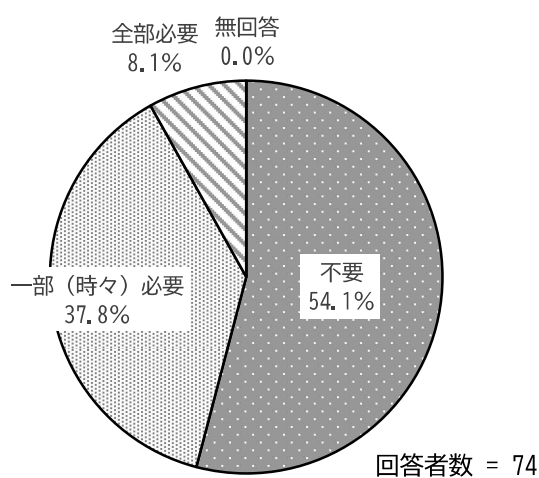
⑧外出の介助

「不要」の割合が68.9%と最も高く、次いで「一部(時々)必要」の割合が28.4%となっています。



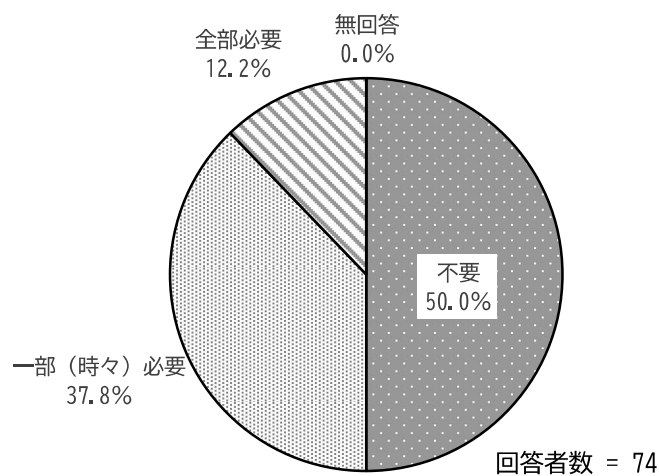
⑨家族以外の人との意思疎通の援助

「不要」の割合が54.1%と最も高く、次いで「一部（時々）必要」の割合が37.8%となっています。



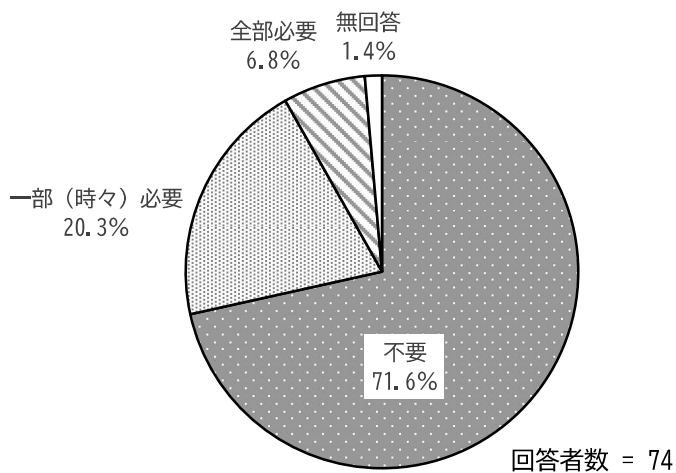
⑩お金の管理の援助

「不要」の割合が50.0%と最も高く、次いで「一部（時々）必要」の割合が37.8%、「全部必要」の割合が12.2%となっています。



①薬の管理の援助

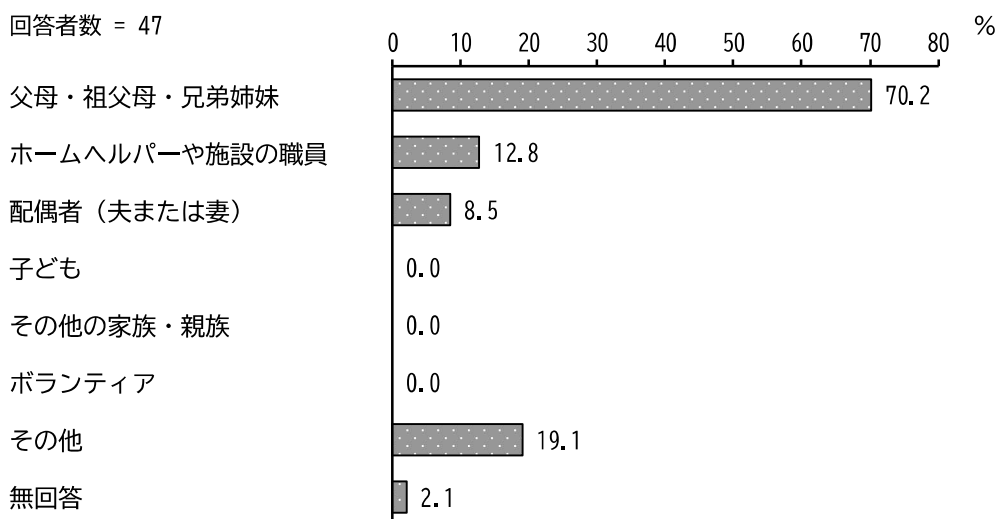
「不要」の割合が71.6%と最も高く、次いで「一部（時々）必要」の割合が20.3%となっています。



【問6で「一部（時々）必要」又は「全部必要」と答えた方がお答えください】

問7 あなたを支援してくれる方は主に誰ですか。（あてはまるものすべてに○）

「父母・祖父母・兄弟姉妹」の割合が70.2%と最も高く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」の割合が12.8%となっています。

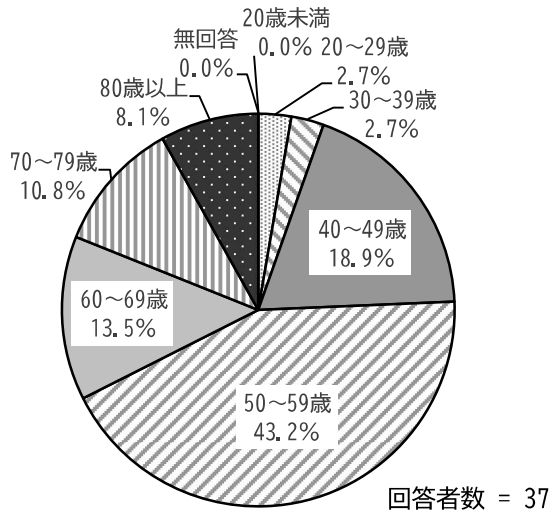


【問7で1. 2. 3. 4. と答えた方がお答えください】

問8 あなたを支援してくれる家族で、主な方の年齢、性別等をお答えください。

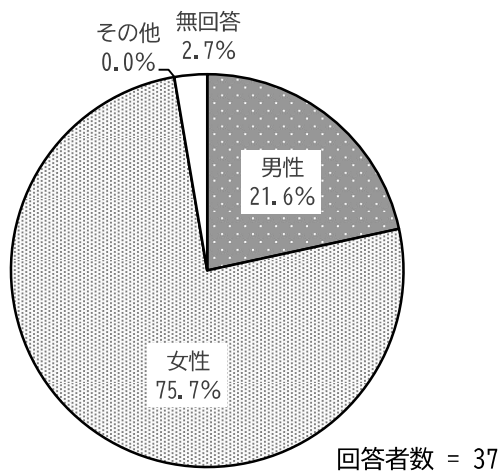
①年齢（令和4年10月1日現在）

「50～59歳」の割合が43.2%と最も高く、次いで「40～49歳」の割合が18.9%、「60～69歳」の割合が13.5%となっています。



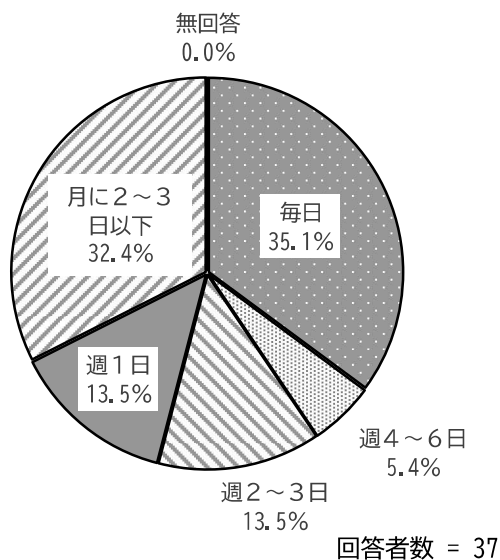
②性別（○は1つだけ）

「男性」の割合が21.6%、「女性」の割合が75.7%となっています。



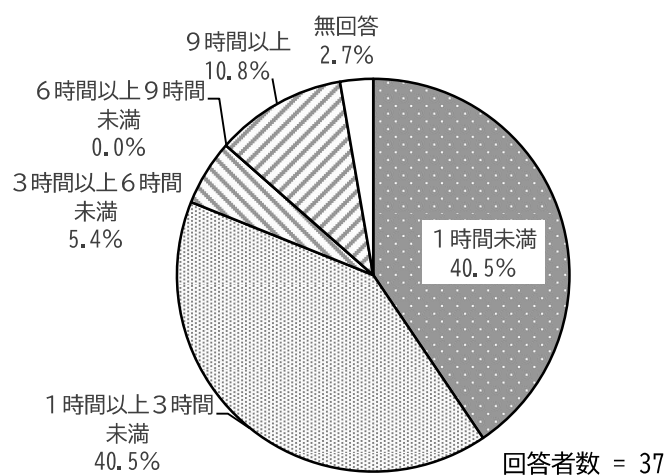
③主な介助者の1週間の介助日数（○は1つだけ）

「毎日」の割合が35.1%と最も高く、次いで「月に2～3日以下」の割合が32.4%、「週2～3日」、「週1日」の割合が13.5%となっています。



④主な介助者の1日の介助時間（○は1つだけ）

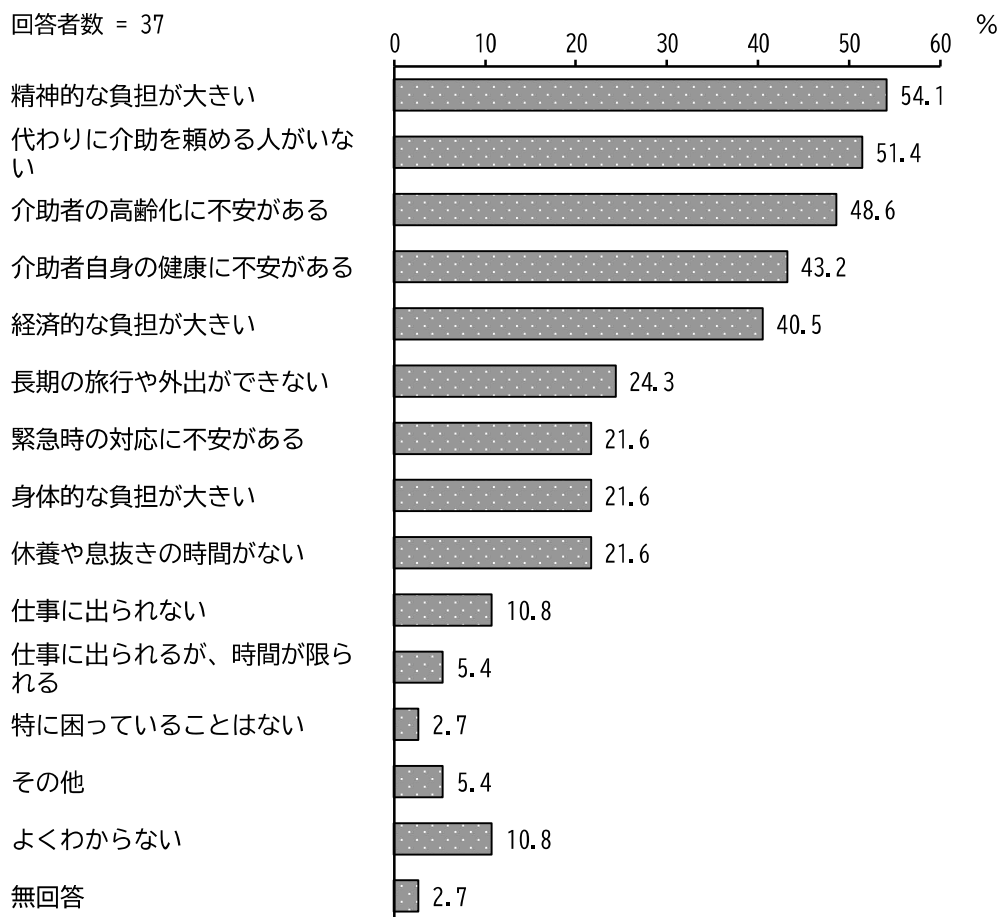
「1時間未満」、「1時間以上3時間未満」の割合が40.5%と最も高く、次いで「9時間以上」の割合が10.8%となっています。



⑤主な介助者が困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「精神的な負担が大きい」の割合が54.1%と最も高く、次いで「代わりに介助を頼める人がいない」の割合が51.4%、「介助者の高齢化に不安がある」の割合が48.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「精神的な負担が大きい」、「代わりに介助を頼める人がいない」、「長期の旅行や外出ができない」の割合が増加し、「介助者の高齢化に不安がある」、「介助者自身の健康に不安がある」の割合が減少しています。



【令和元年度調査】

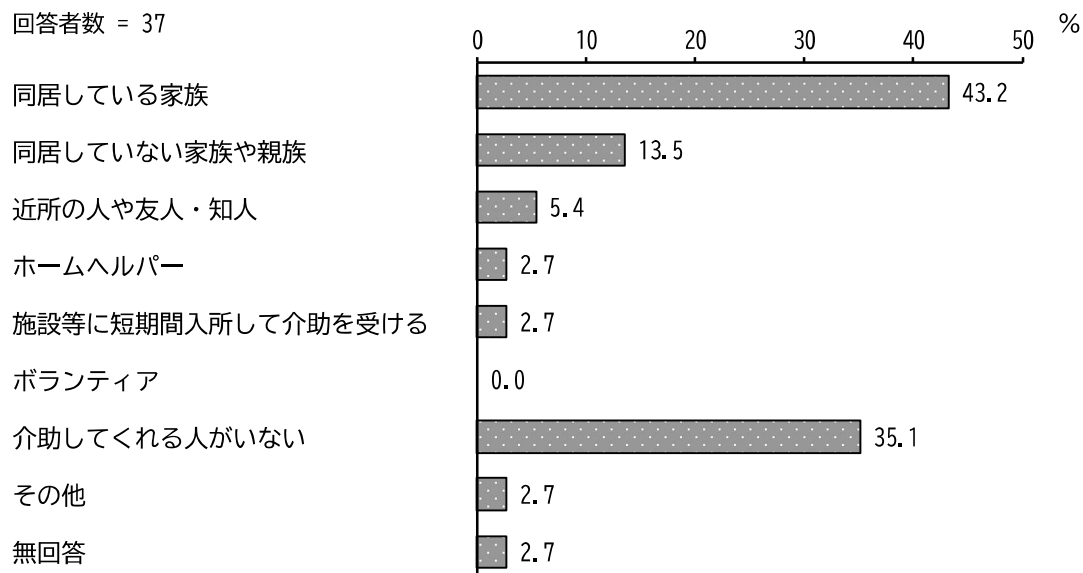
単位：%

| | 回答者数 | 介助者の 高齢化に 不安があ る | 介助者自 身の健康 に不安が ある | 精神的な 負担が大 きい | 代わりに 介助を頼 める人が いない | 経済的な 負担が大 きい | 緊急時の 対応に不 安がある | 身体的な 負担が大 きい |
|----|------|---------------------------|----------------------------|---------------------------|-----------------------------|--------------------|----------------------|--------------------|
| 全体 | 53 | 62.3 | 49.1 | 47.2 | 39.6 | 30.2 | 24.5 | 20.8 |
| | | 休養や息 抜きの時 間がない | 仕事に出 られない | 長期の旅 行や外出 が不能 ない | 特に困っ ているこ とはない | よくわか らない | その他 | 無回答 |
| | | 20.8 | 13.2 | 11.3 | 1.9 | 11.3 | 7.5 | 1.9 |

※令和元年度調査では、「仕事に出られるが、時間が限られる」の選択肢がありませんでした。

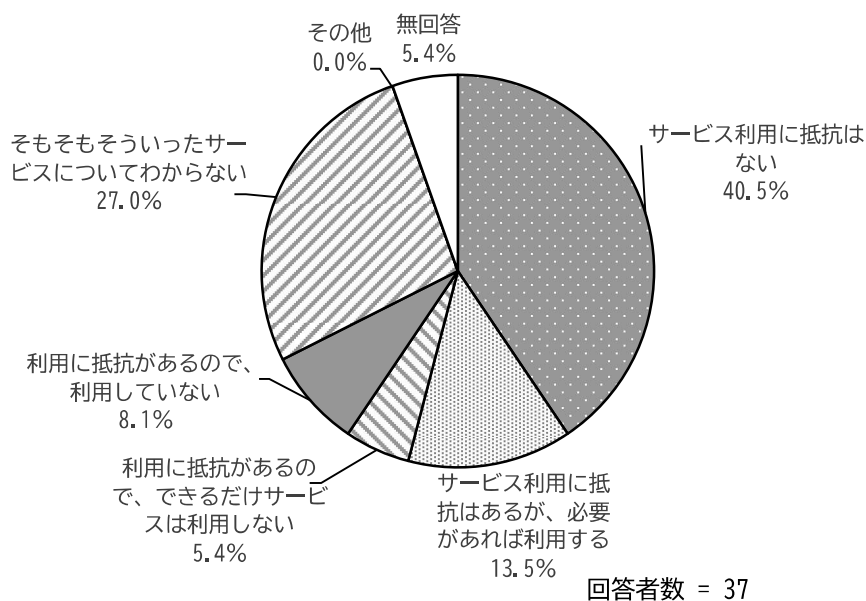
⑥主な介助者が、病気の時や外出をしなければならないときなどは、代わりにどなたが介助していますか。(あてはまるものすべてに○)

「同居している家族」の割合が43.2%と最も高く、次いで「介助してくれる人がいない」の割合が35.1%、「同居していない家族や親族」の割合が13.5%となっています。

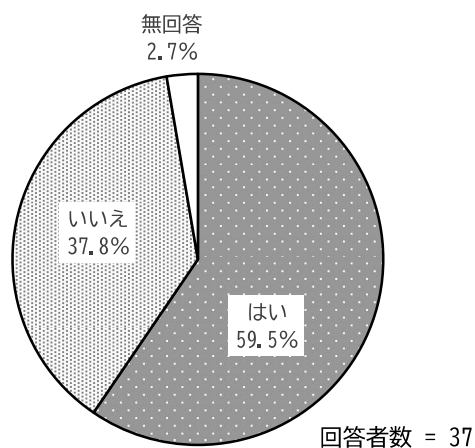


⑦主な介助者は、自宅で、家族以外から支援を受ける生活介護などのサービスを利用することに抵抗がありますか。(○は1つだけ)

「サービス利用に抵抗はない」の割合が40.5%と最も高く、次いで「そもそもそういったサービスについてわからない」の割合が27.0%、「サービス利用に抵抗はあるが、必要があれば利用する」の割合が13.5%となっています。



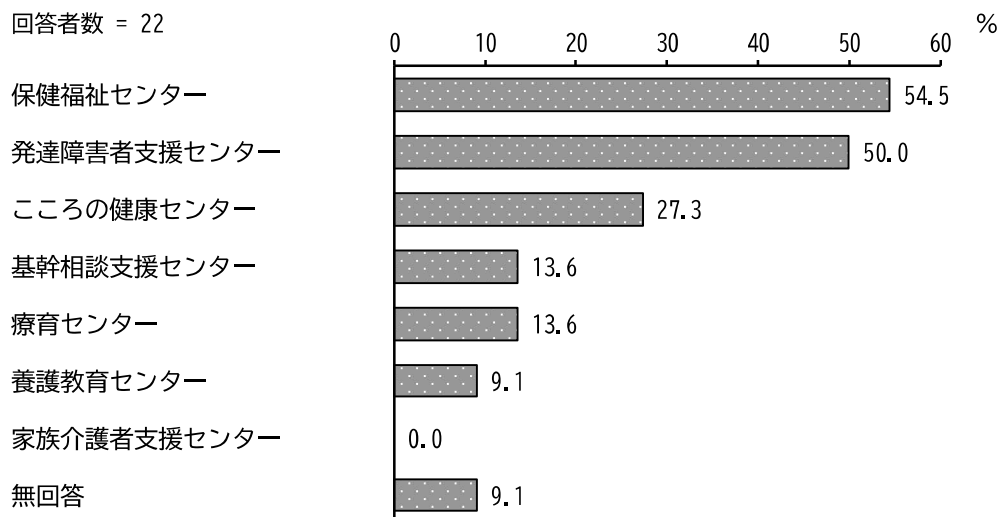
⑧主な介助者は、介助について相談できる機関を知っていますか。(○は1つだけ)
 「はい」の割合が59.5%、「いいえ」の割合が37.8%となっています。



【⑧で1. を選択した場合にお答えください。】

⑨知っている機関をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

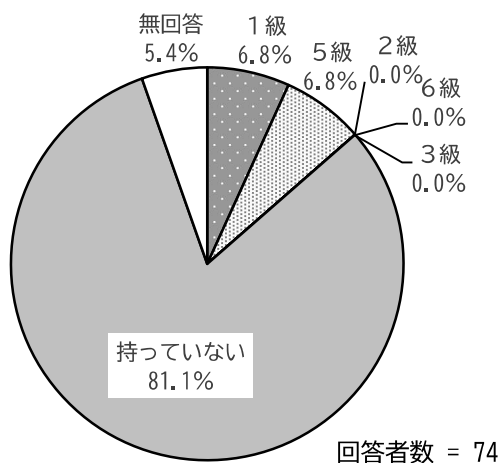
「保健福祉センター」の割合が54.5%と最も高く、次いで「発達障害者支援センター」の割合が50.0%、「こころの健康センター」の割合が27.3%となっています。



(3) あなたの障害の状況について

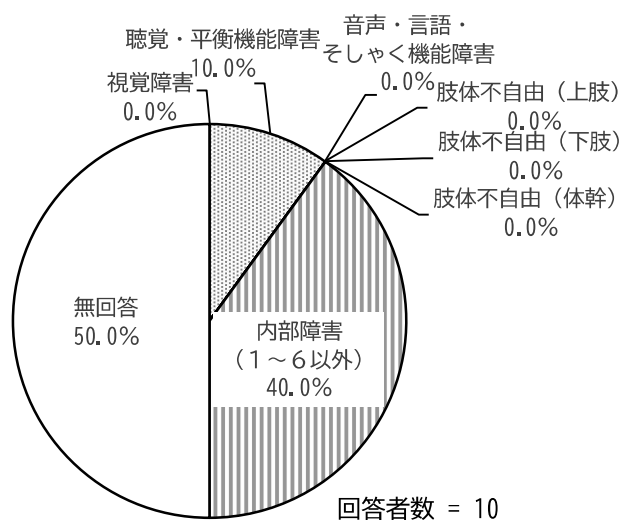
問9 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

「持っていない」の割合が81.1%と最も高くなっています。



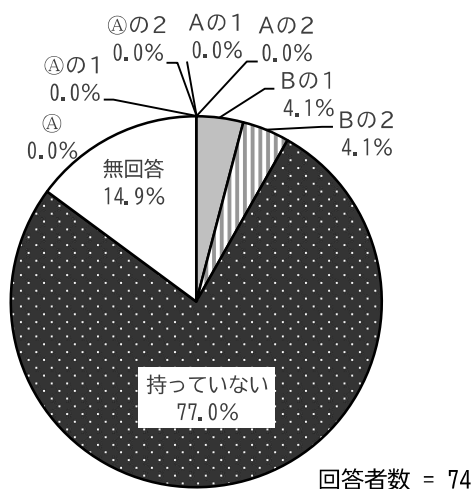
問10 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障害をお答えください。(○は1つだけ)

「内部障害(1~6以外)」の割合が40.0%と最も高く、次いで「聴覚・平衡機能障害」の割合が10.0%となっています。



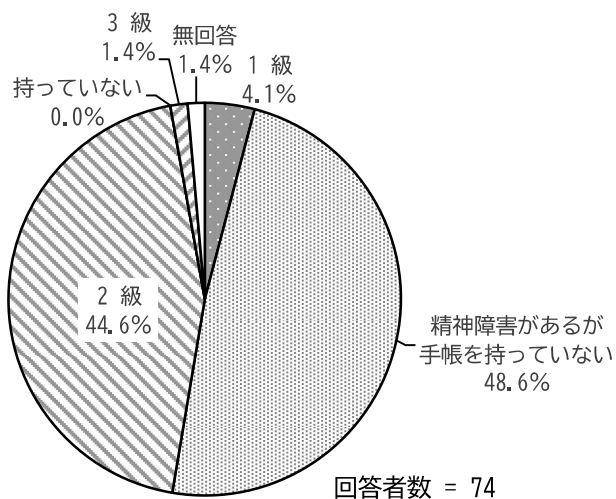
問 11 あなたは療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

「持っていない」の割合が77.0%と最も高くなっています。



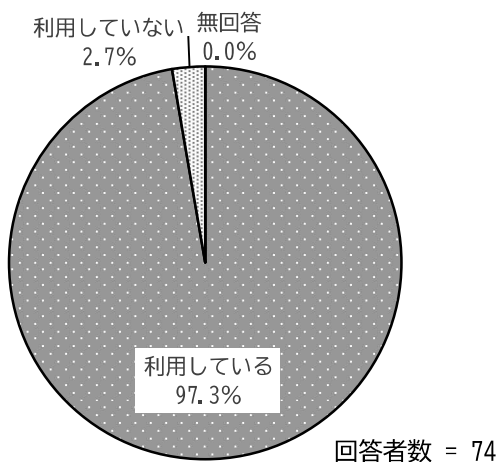
問 12 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

「精神障害があるが手帳を持っていない」の割合が48.6%と最も高く、次いで「2級」の割合が44.6%となっています。



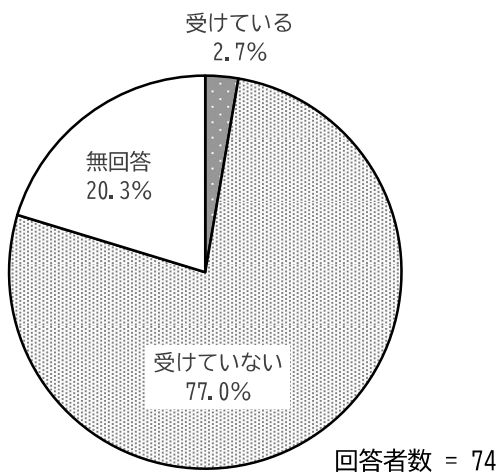
問 13 自立支援医療（精神通院医療）を利用していますか。（○は1つだけ）

「利用している」の割合が97.3%、「利用していない」の割合が2.7%となっています。



問 15 あなたは難病（指定難病）の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

「受けている」の割合が2.7%、「受けていない」の割合が77.0%となっています。



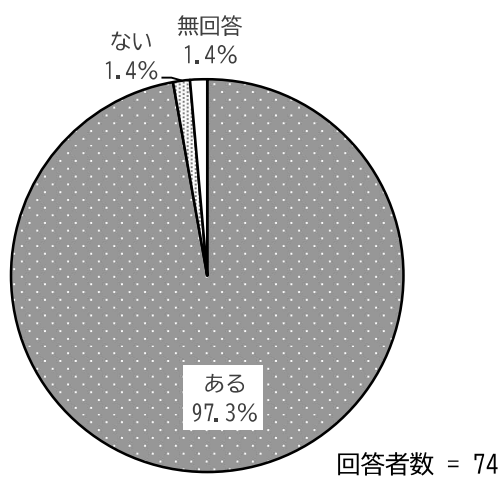
【問 15 で 1. を選択した場合にお答えください。】

問 16 あなたの難病の種類は何ですか。

有効回答がありませんでした。

問 17 あなたは発達障害として診断されたことがありますか。(○は1つだけ)

「ある」の割合が 97.3%、「ない」の割合が 1.4%となっています。

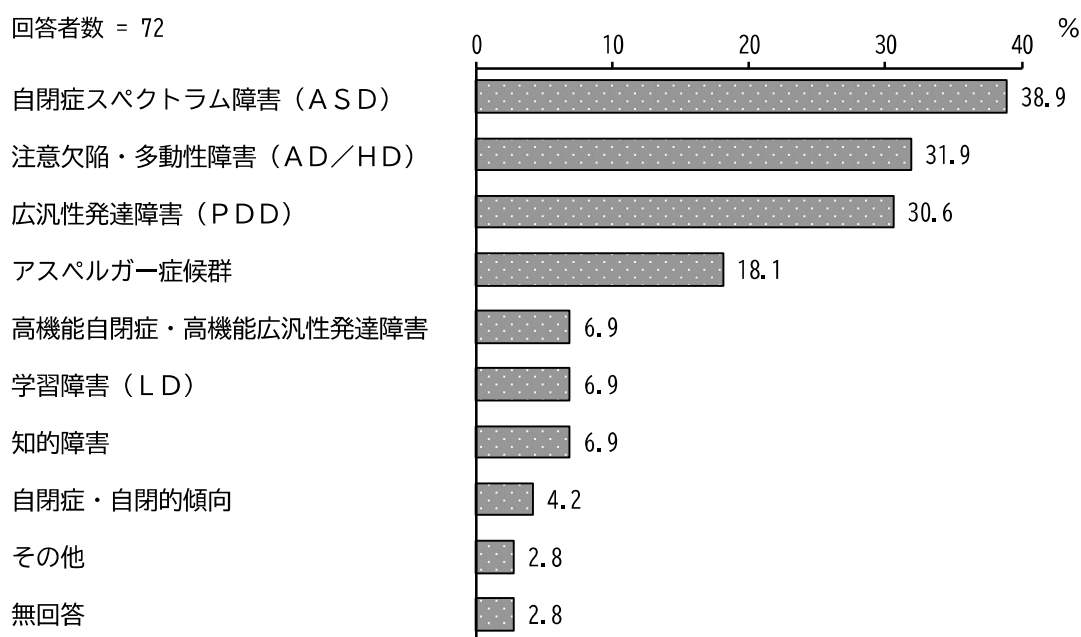


【問 18 から問 20 は、問 17 で 1. を選択した場合にお答えください。】

問 18 あなたが受けている最新の診断名をお聞きます。
(あてはまるものすべてに○)

「自閉症スペクトラム障害 (ASD)」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「注意欠陥・多動性障害 (AD/HD)」の割合が 31.9%、「広汎性発達障害 (PDD)」の割合が 30.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「自閉症スペクトラム障害 (ASD)」の割合が増加し、「広汎性発達障害 (PDD)」、「アスペルガー症候群」の割合が減少しています。



【令和元年度調査】

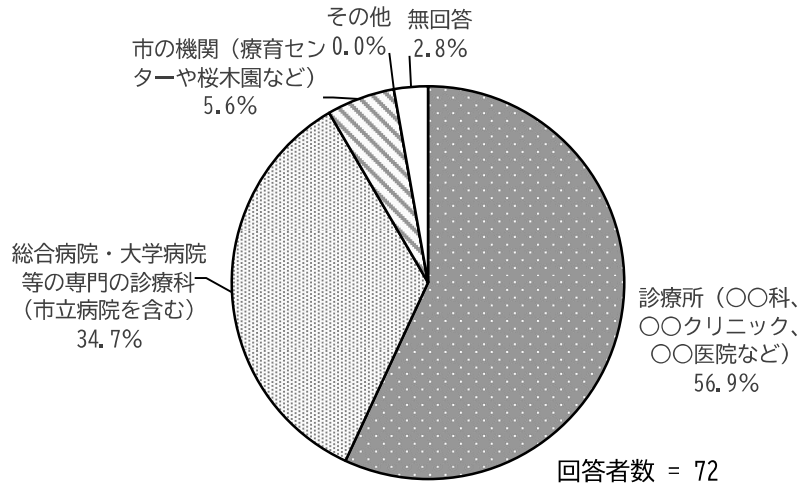
単位：%

| | 回答者数 | 広汎性発達障害 (PDD) | アスペルガー症候群 | 自閉症スペクトラム障害 (ASD) | 注意欠陥・多動性障害 (AD/HD) | 学習障害 (LD) | 自閉症・自閉的傾向 | 高機能自閉症・高機能広汎性発達障害 | 知的障害 | 特に診断は受けていない | その他 | 無回答 |
|----|------|---------------|-----------|-------------------|--------------------|-----------|-----------|-------------------|------|-------------|-----|-----|
| 全体 | 137 | 49.6 | 31.4 | 28.5 | 27.7 | 8.0 | 7.3 | 5.1 | 2.9 | 0.7 | 9.5 | 0.7 |

※令和元年度調査では、「特に診断は受けていない」の選択肢がありました。

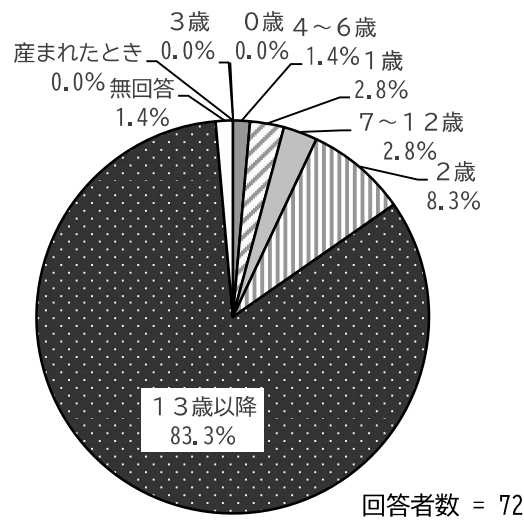
問 19 あなたが障害の診断・判定を受けた機関はどこですか。(○は1つだけ)

「診療所(〇〇科、〇〇クリニック、〇〇医院など)」の割合が56.9%と最も高く、次いで「総合病院・大学病院等の専門の診療科(市立病院を含む)」の割合が34.7%となっています。



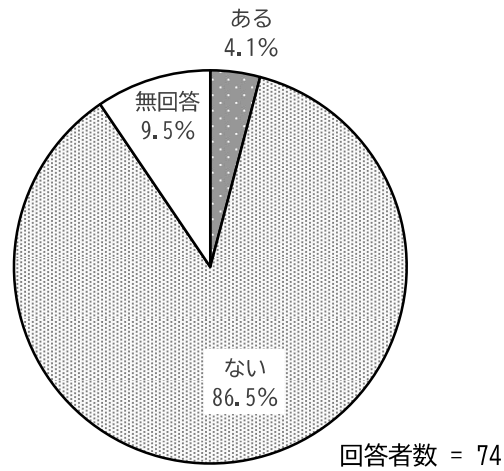
問 20 あなたが診断・判定を受けたのは何歳の時ですか。(○は1つだけ)

「13歳以降」の割合が83.3%と最も高くなっています。



問 21 あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。(○は1つだけ)

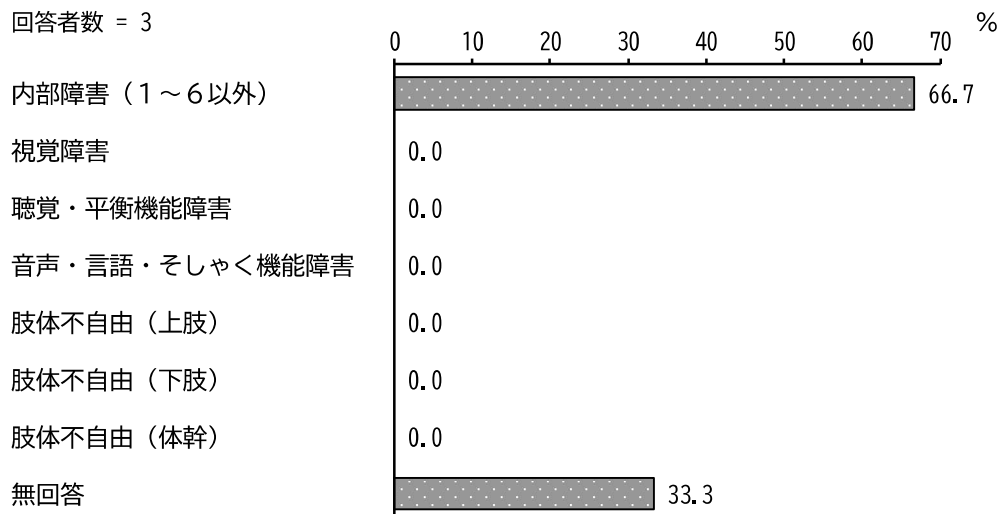
「ある」の割合が4.1%、「ない」の割合が86.5%となっています。



【問 21 で「ある」を選択された方がお答えください】

問 22 その関連障害をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

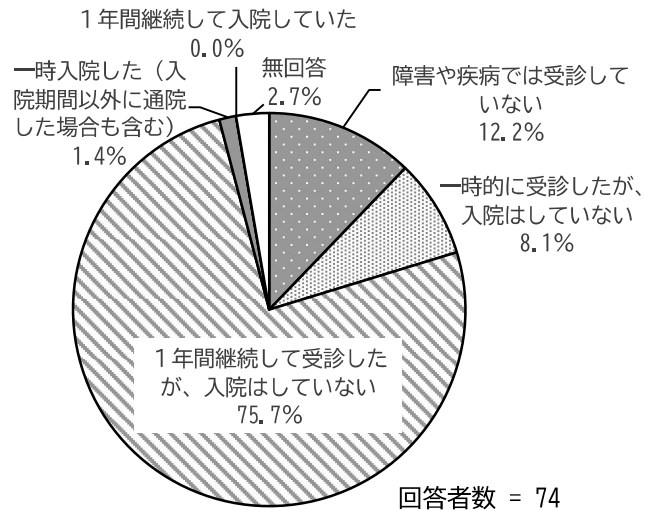
「内部障害（1～6以外）」が2件となっています。



(4) 医療機関への受診状況について

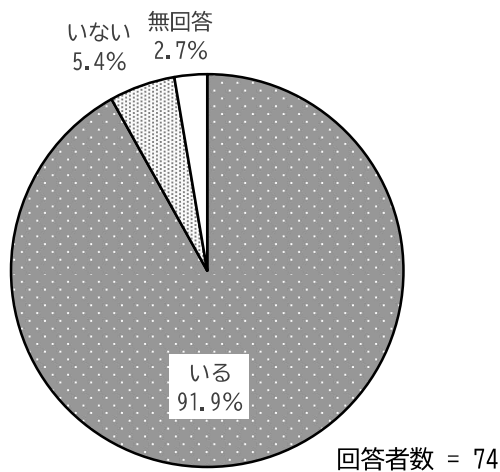
問 23 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。
(○は1つだけ)

「1年間継続して受診したが、入院はしていない」の割合が75.7%と最も高く、次いで「障害や疾病では受診していない」の割合が12.2%となっています。



問 24 あなたは障害や疾病について、相談や治療をしてくれる身近な医師等(かかりつけ医)はいますか。(○は1つだけ)

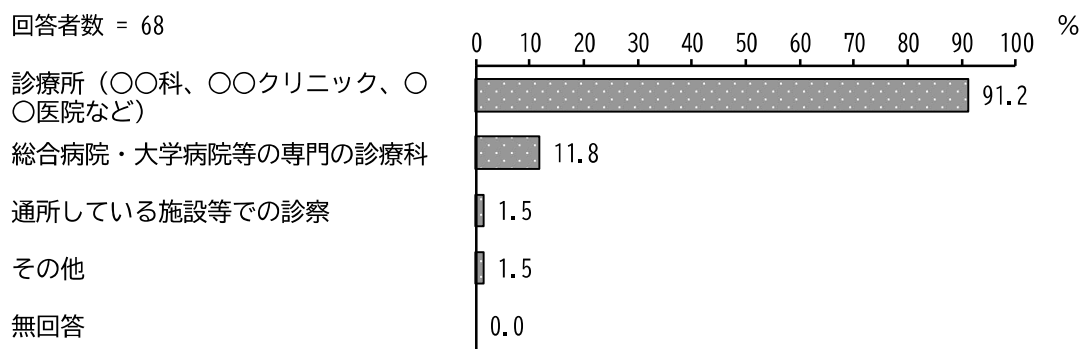
「いる」の割合が91.9%、「いない」の割合が5.4%となっています。



【問 24 で「いる」を選択された方がお答えください】

問 25 その医療機関はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

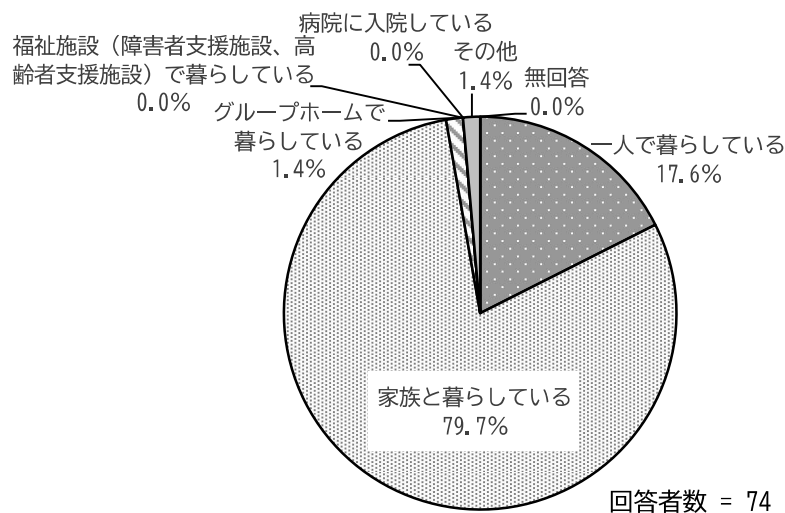
「診療所（〇〇科、〇〇クリニック、〇〇医院など）」の割合が 91.2%と最も高く、次いで「総合病院・大学病院等の専門の診療科」の割合が 11.8%となっています。



(5) 住まいや暮らしについて

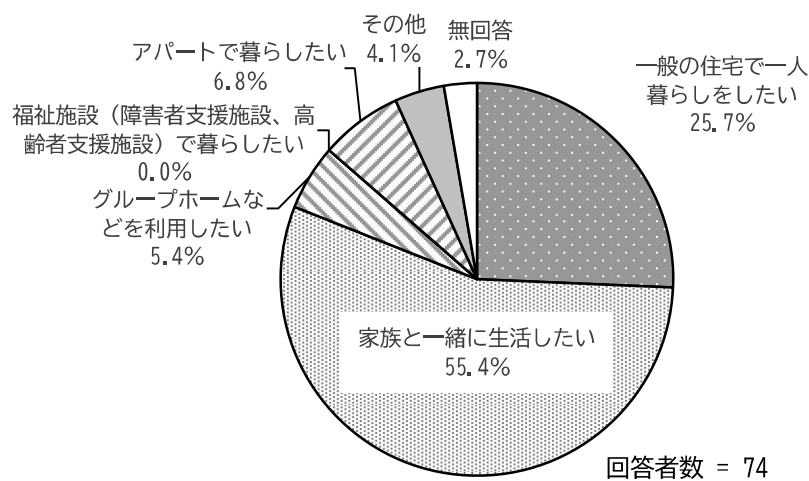
問 26 あなたは現在どのように暮らしていますか。(○は1つだけ)

「家族と暮らしている」の割合が79.7%と最も高く、次いで「一人で暮らしている」の割合が17.6%となっています。



問 27 あなたは今後3年以内にどのような暮らしをしたいと思いますか。(○は1つだけ)

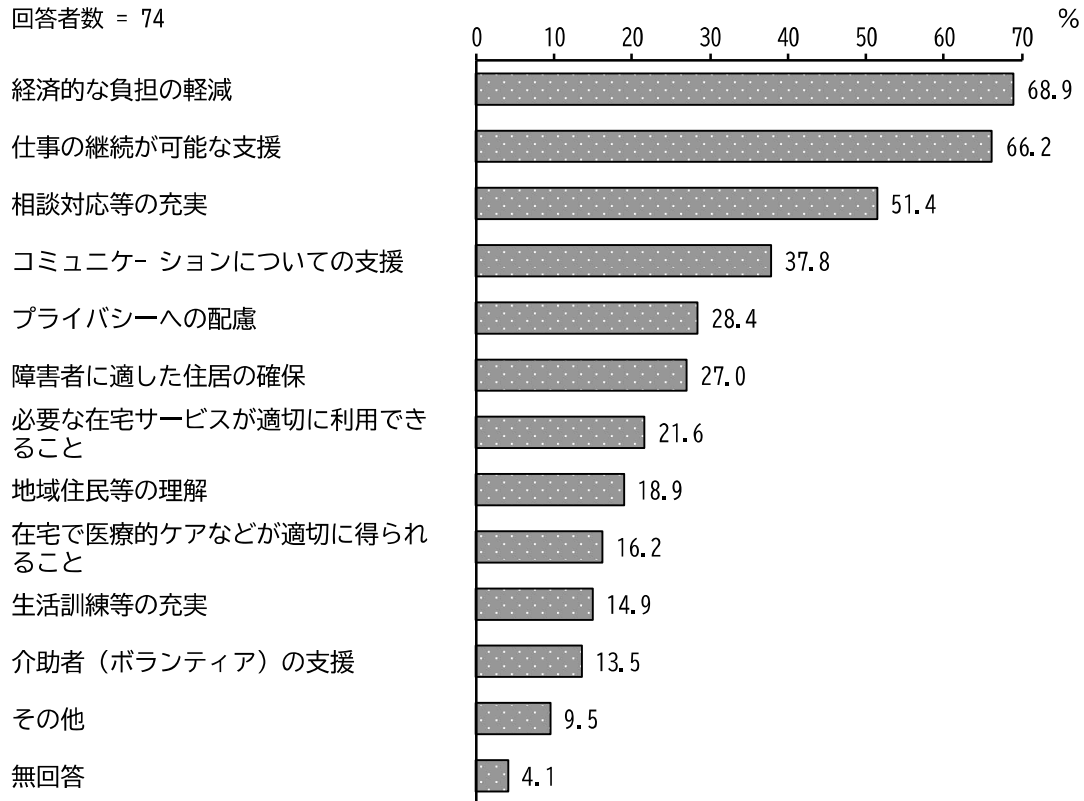
「家族と一緒に生活したい」の割合が55.4%と最も高く、次いで「一般の住宅で一人暮らしをしたい」の割合が25.7%となっています。



問 28 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「経済的な負担の軽減」の割合が 68.9%と最も高く、次いで「仕事の継続が可能な支援」の割合が 66.2%、「相談対応等の充実」の割合が 51.4%となっています。

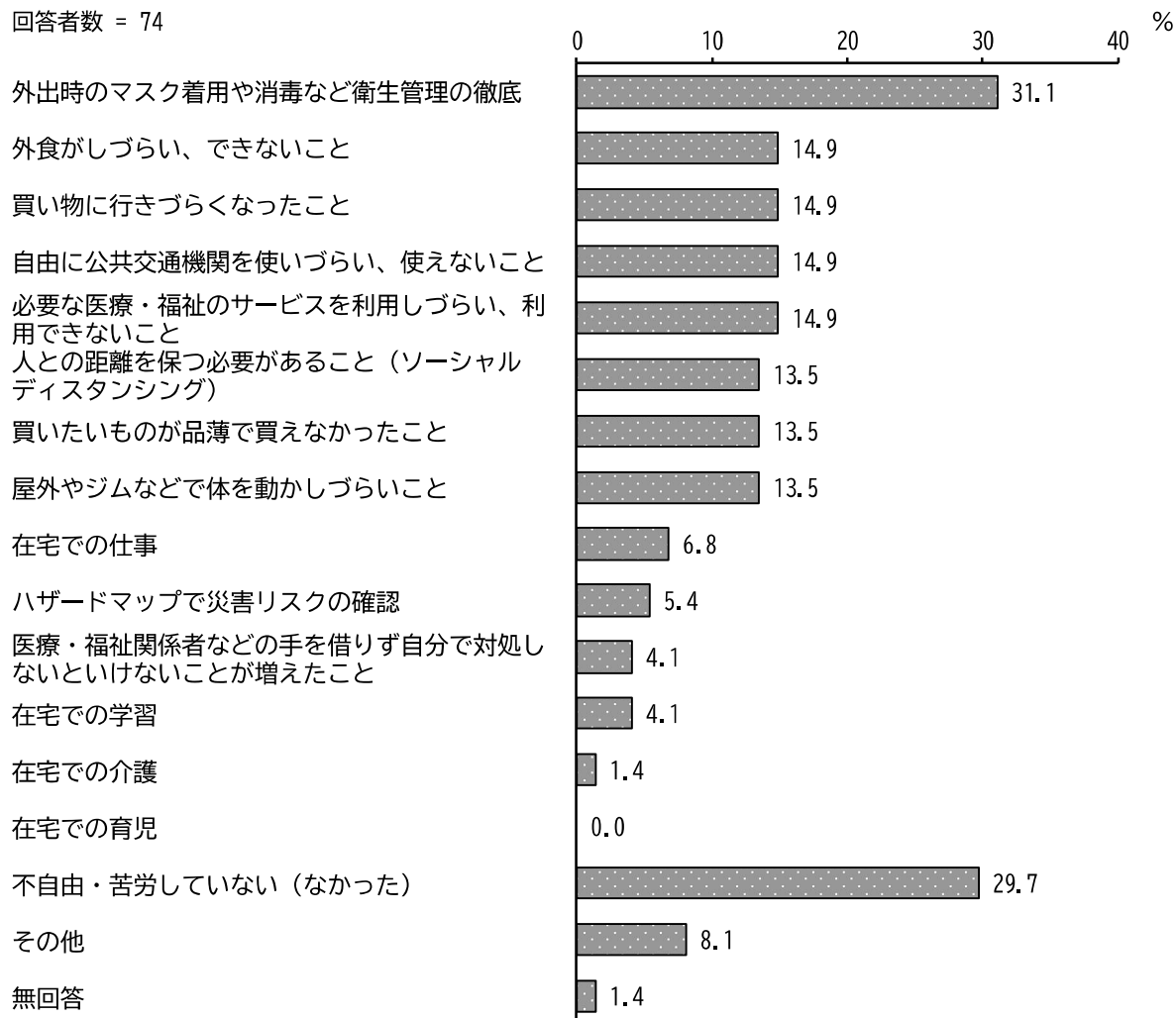
回答者数 = 74



問 29 外出を自粛する中で日常生活のどんなことに不自由・苦勞しています（していません）か。（あてはまるものすべてに○）

「外出時のマスク着用や消毒など衛生管理の徹底」の割合が31.1%と最も高く、次いで「不自由・苦勞していない（なかった）」の割合が29.7%、「外食がしづらい、できないこと」、「買い物に行きづらくなったこと」の割合が14.9%となっています。

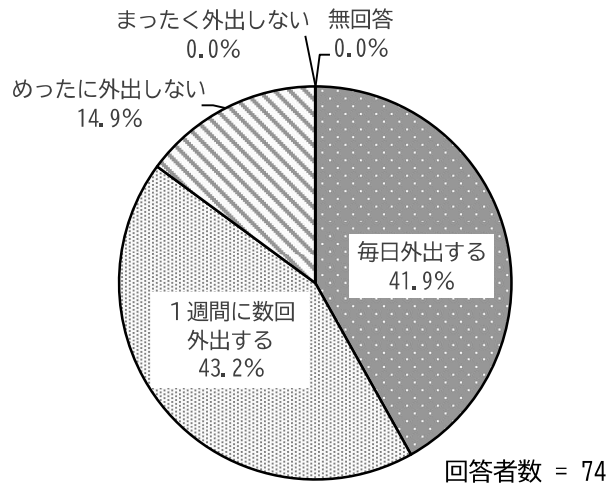
回答者数 = 74



(6) 日中活動や就労について

問 30 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

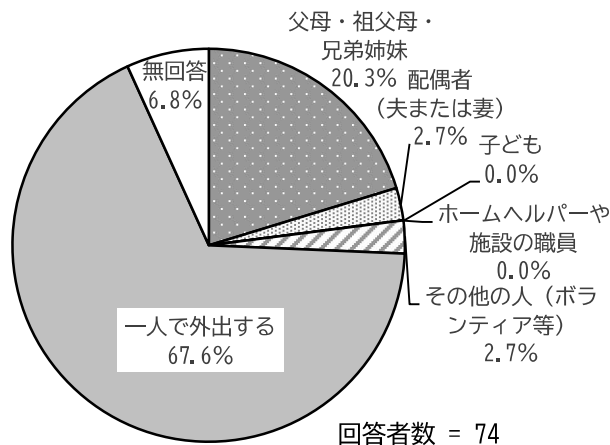
「1週間に数回外出する」の割合が43.2%と最も高く、次いで「毎日外出する」の割合が41.9%、「めったに外出しない」の割合が14.9%となっています。



【問 31 から 34 は、問 30 で、4. 以外を選択した方がお答えください。】

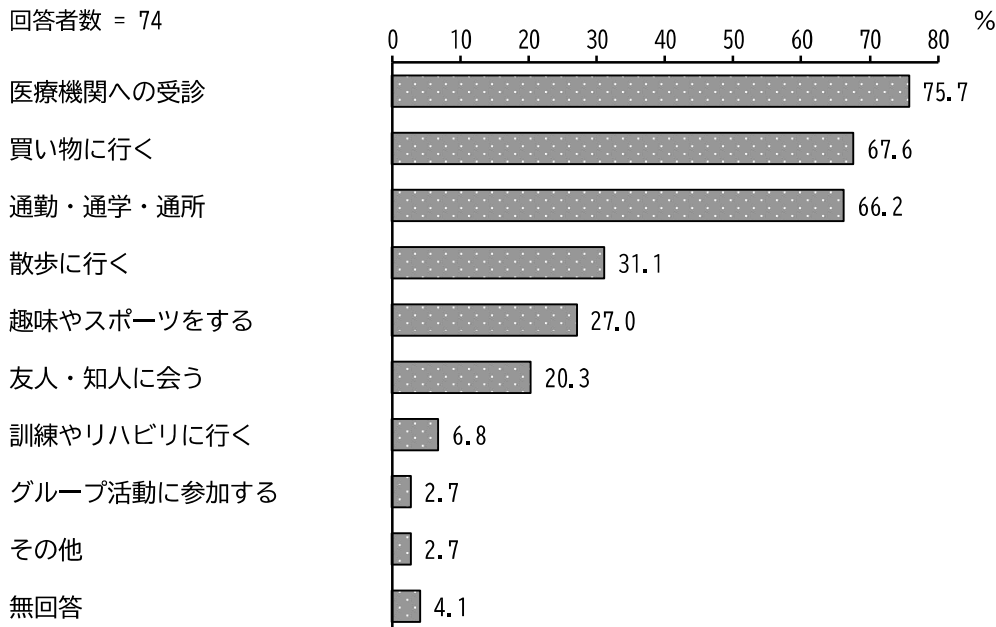
問 31 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(○は1つだけ)

「一人で外出する」の割合が67.6%と最も高く、次いで「父母・祖父母・兄弟姉妹」の割合が20.3%となっています。



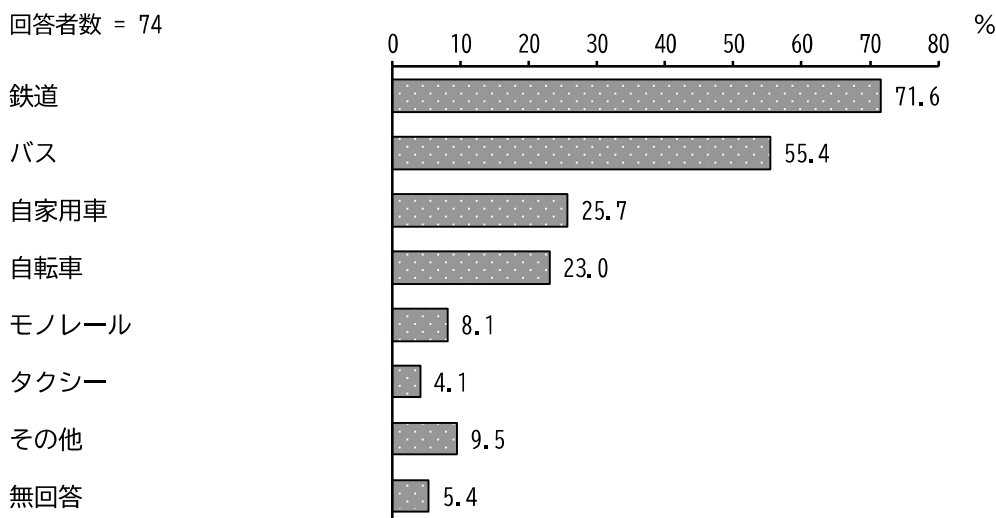
問 32 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「医療機関への受診」の割合が 75.7%と最も高く、次いで「買い物に行く」の割合が 67.6%、
 「通勤・通学・通所」の割合が 66.2%となっています。



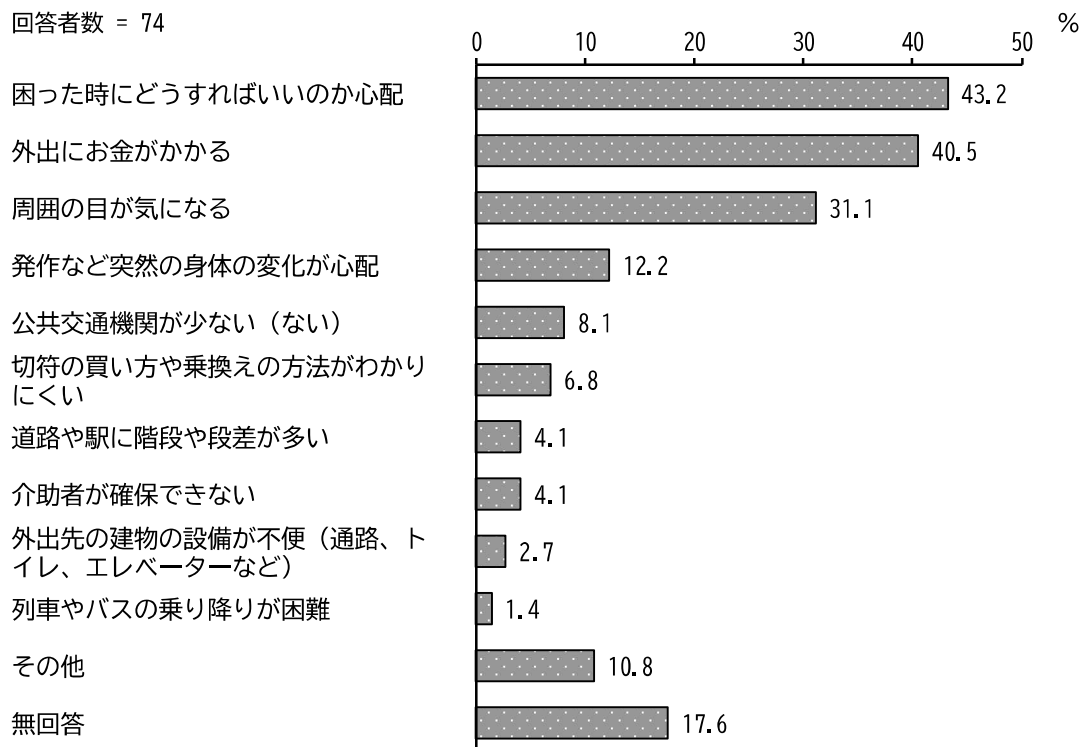
問 33 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「鉄道」の割合が 71.6%と最も高く、次いで「バス」の割合が 55.4%、「自家用車」の割合が
 25.7%となっています。



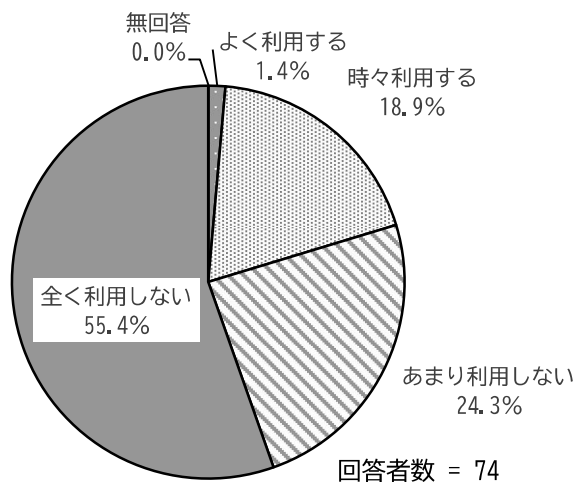
問 34 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「困った時にどうすればいいのか心配」の割合が43.2%と最も高く、次いで「外出にお金がかかる」の割合が40.5%、「周囲の目が気になる」の割合が31.1%となっています。



問 35 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つだけ)

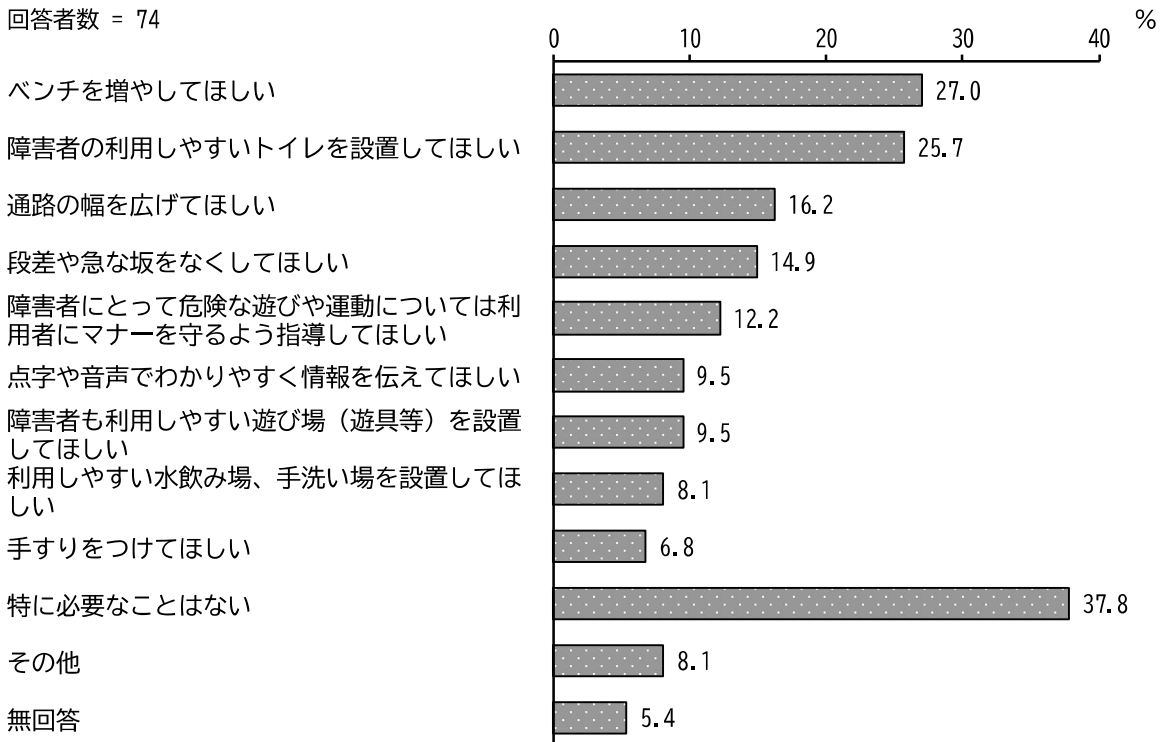
「全く利用しない」の割合が55.4%と最も高く、次いで「あまり利用しない」の割合が24.3%、「時々利用する」の割合が18.9%となっています。



問 36 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

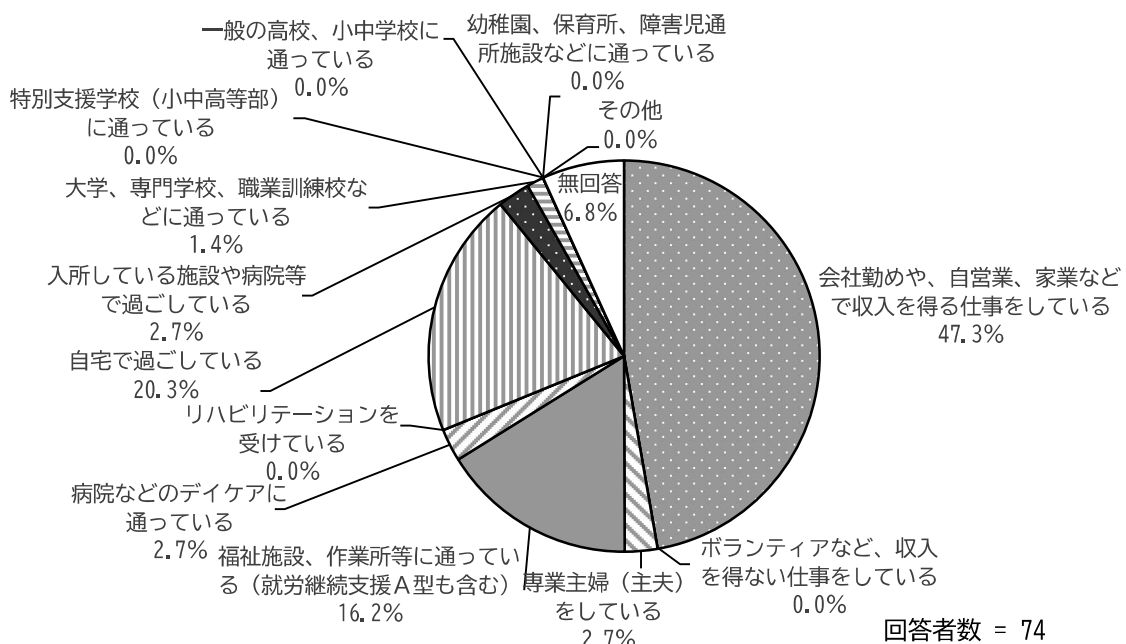
「特に必要なことはない」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「ベンチを増やしてほしい」の割合が 27.0%、「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」の割合が 25.7%となっています。

回答者数 = 74



問 37 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

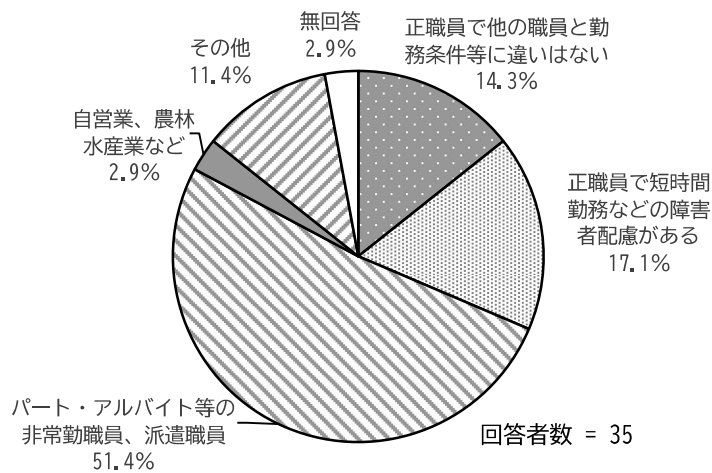
「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「自宅で過ごしている」の割合が 20.3%、「福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)」の割合が 16.2%となっています。



【問 37 で 1. を選択した場合にお答えください。】

問 38 どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

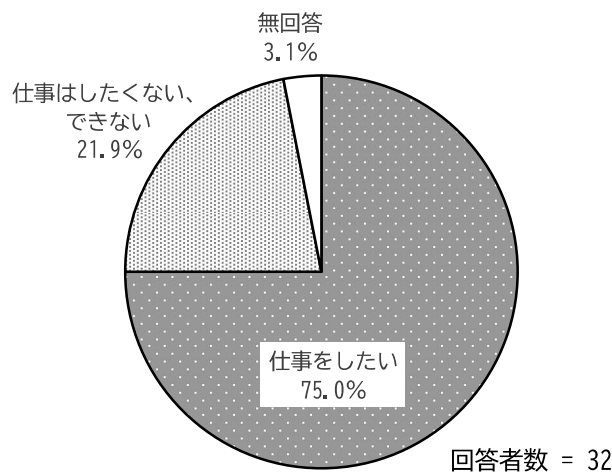
「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「正職員で短時間勤務などの障害者配慮がある」の割合が 17.1%、「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」の割合が 14.3%となっています。



【問 37 で 1. 以外を選択した 18～64 歳の方がお答えください。】

問 39 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は1つだけ)

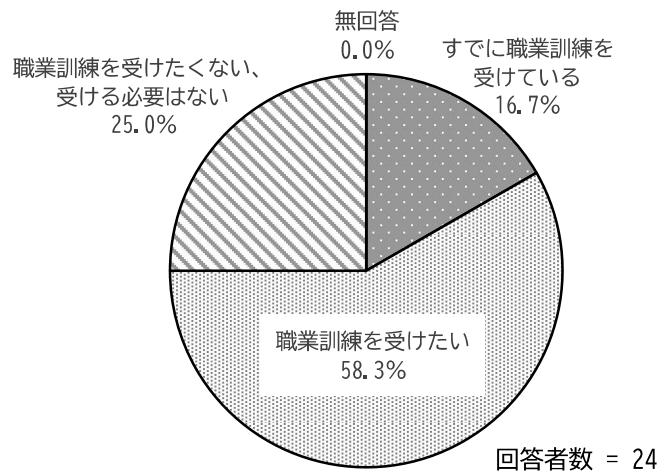
「仕事をしたい」の割合が 75.0%、「仕事はしたくない、できない」の割合が 21.9%となっています。



【問 39 で 1. を選択した方がお答えください。】

問 40 収入を得る仕事をするために、職業訓練を受けたいと思いますか。
(○は1つだけ)

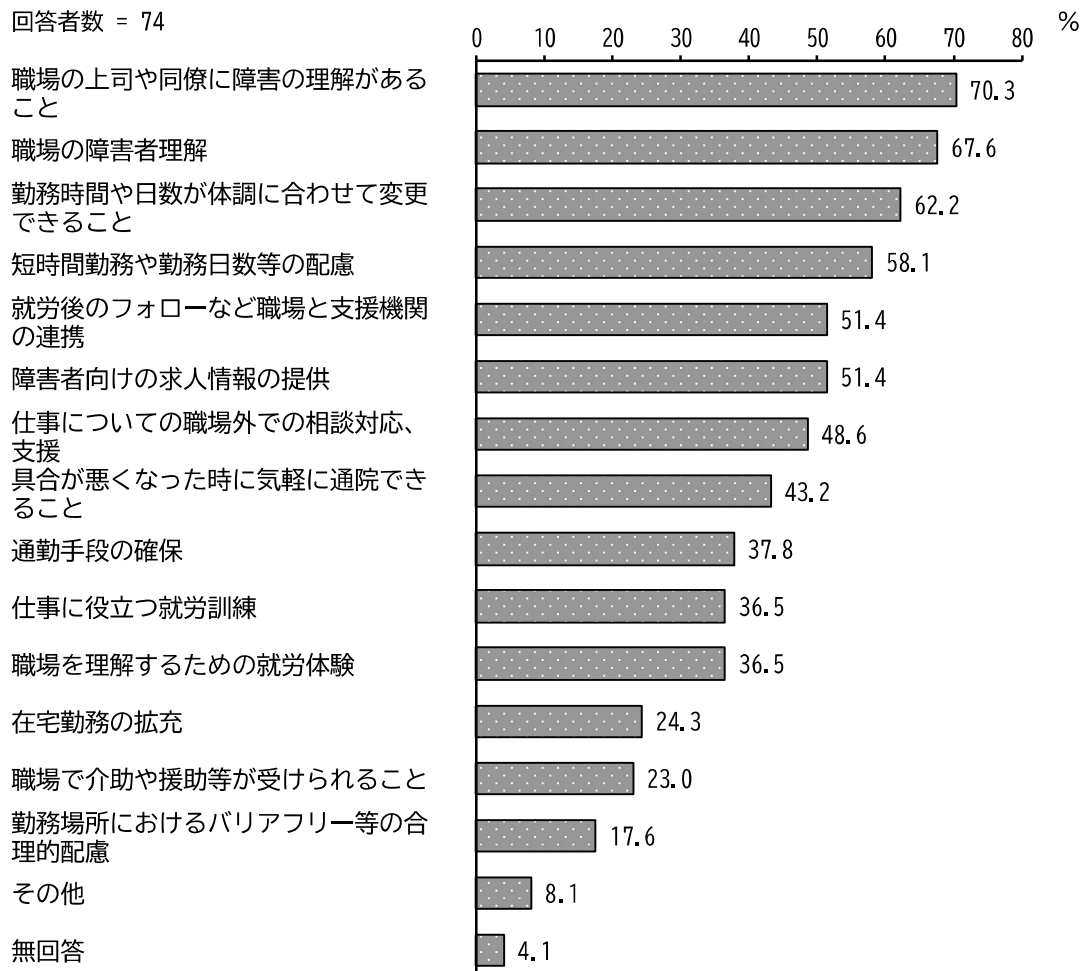
「職業訓練を受けたい」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」の割合が 25.0%、「すでに職業訓練を受けている」の割合が 16.7%となっています。



問 41 あなたは、障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「職場の上司や同僚に障害の理解があること」の割合が 70.3%と最も高く、次いで「職場の障害者理解」の割合が 67.6%、「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」の割合が 62.2%となっています。

回答者数 = 74

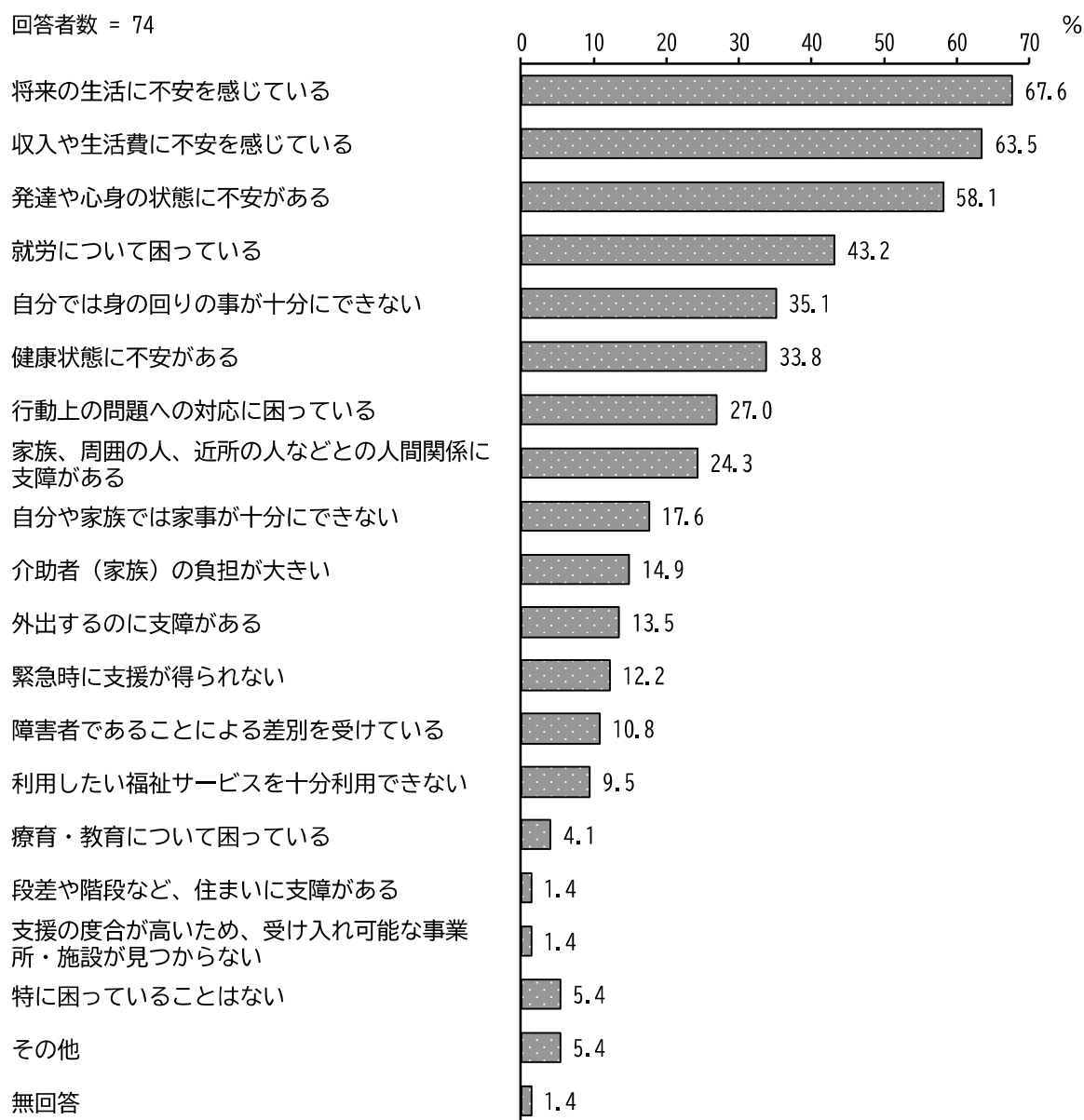


(7) 相談・相談相手について

問 42 あなた（やご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

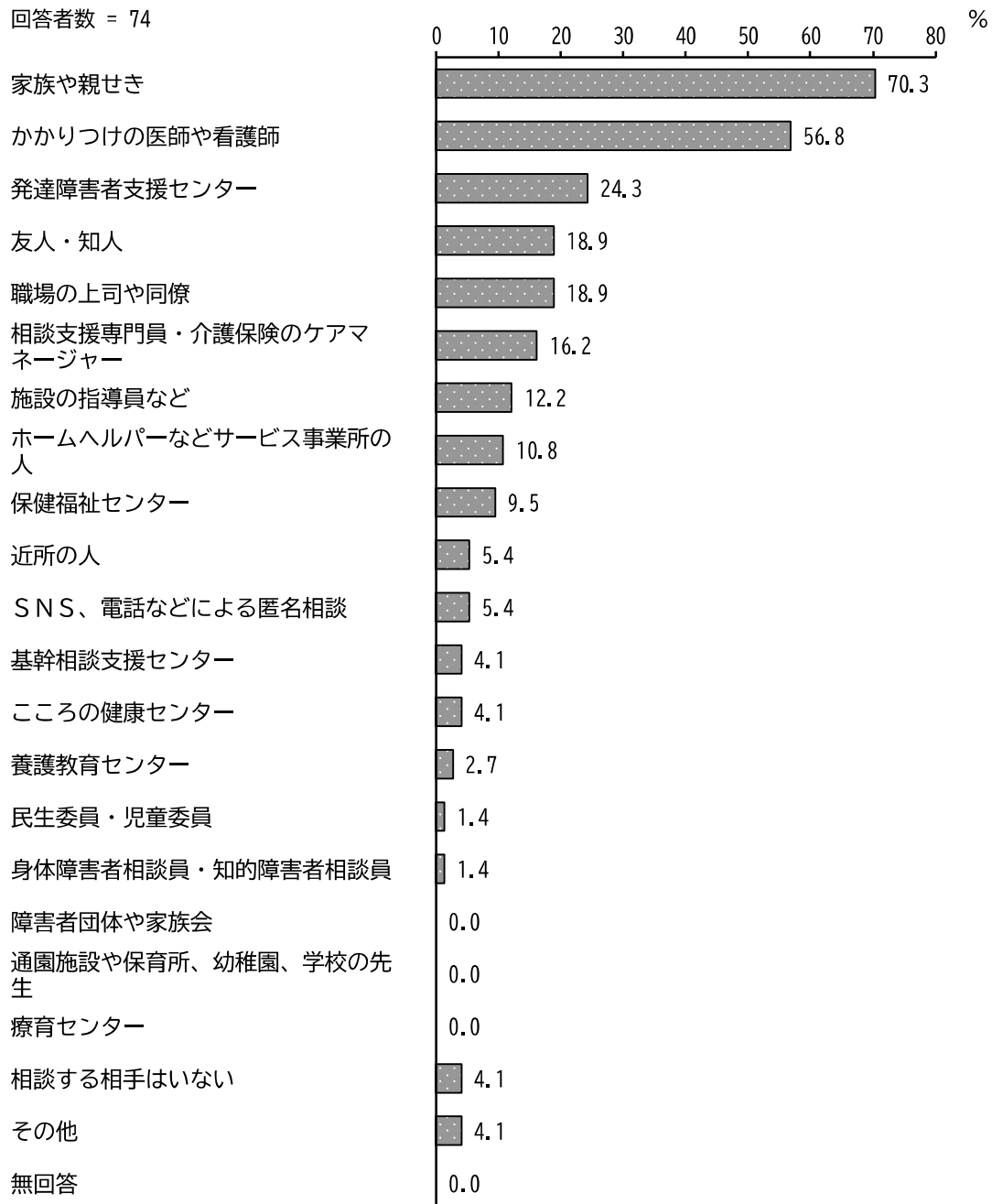
「将来の生活に不安を感じている」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「収入や生活費に不安を感じている」の割合が 63.5%、「発達や心身の状態に不安がある」の割合が 58.1%となっています。

回答者数 = 74



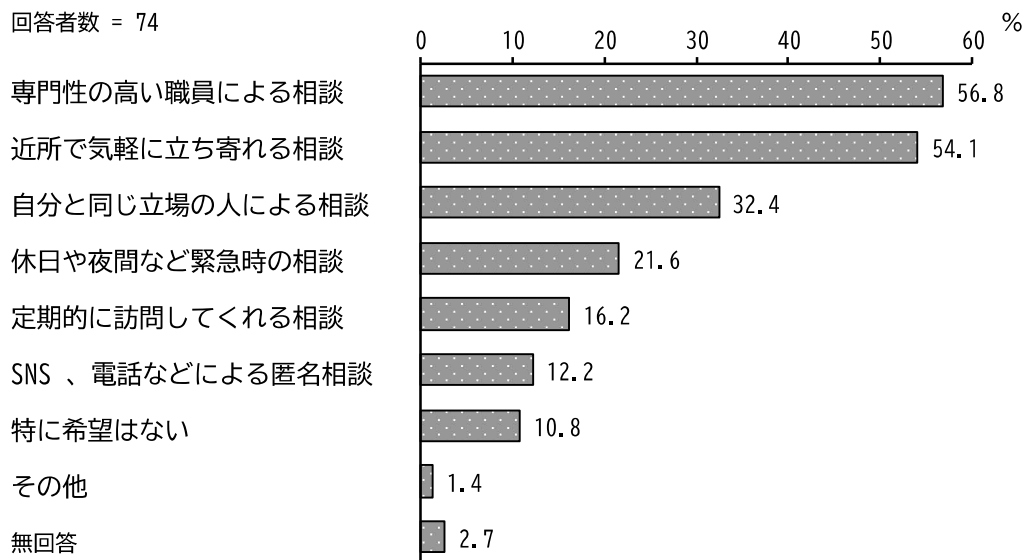
問 43 あなた（やご家族の方）は、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。
（あてはまるものすべてに○）

「家族や親せき」の割合が 70.3%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」の割合が 56.8%、「発達障害者支援センター」の割合が 24.3%となっています。



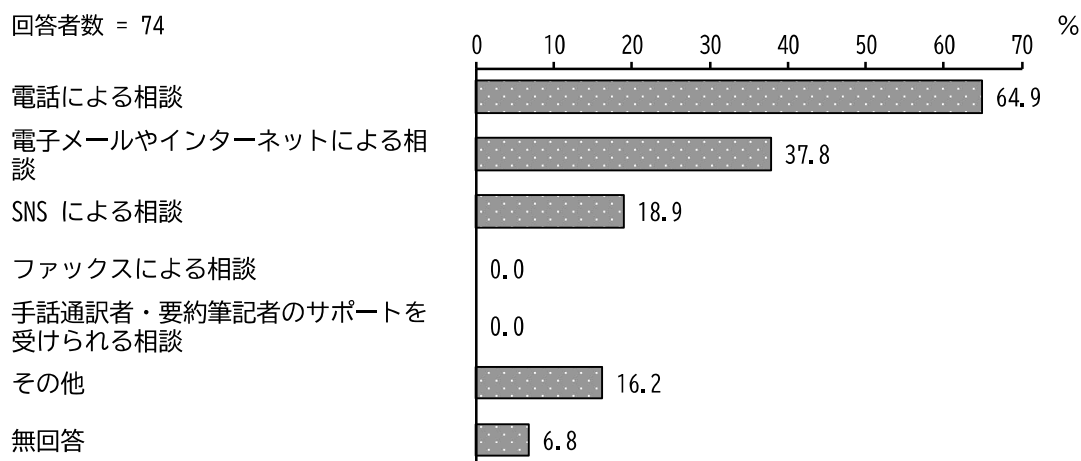
問 44 あなた（やご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「専門性の高い職員による相談」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「近所で気軽に立ち寄れる相談」の割合が 54.1%、「自分と同じ立場の人による相談」の割合が 32.4%となっています。



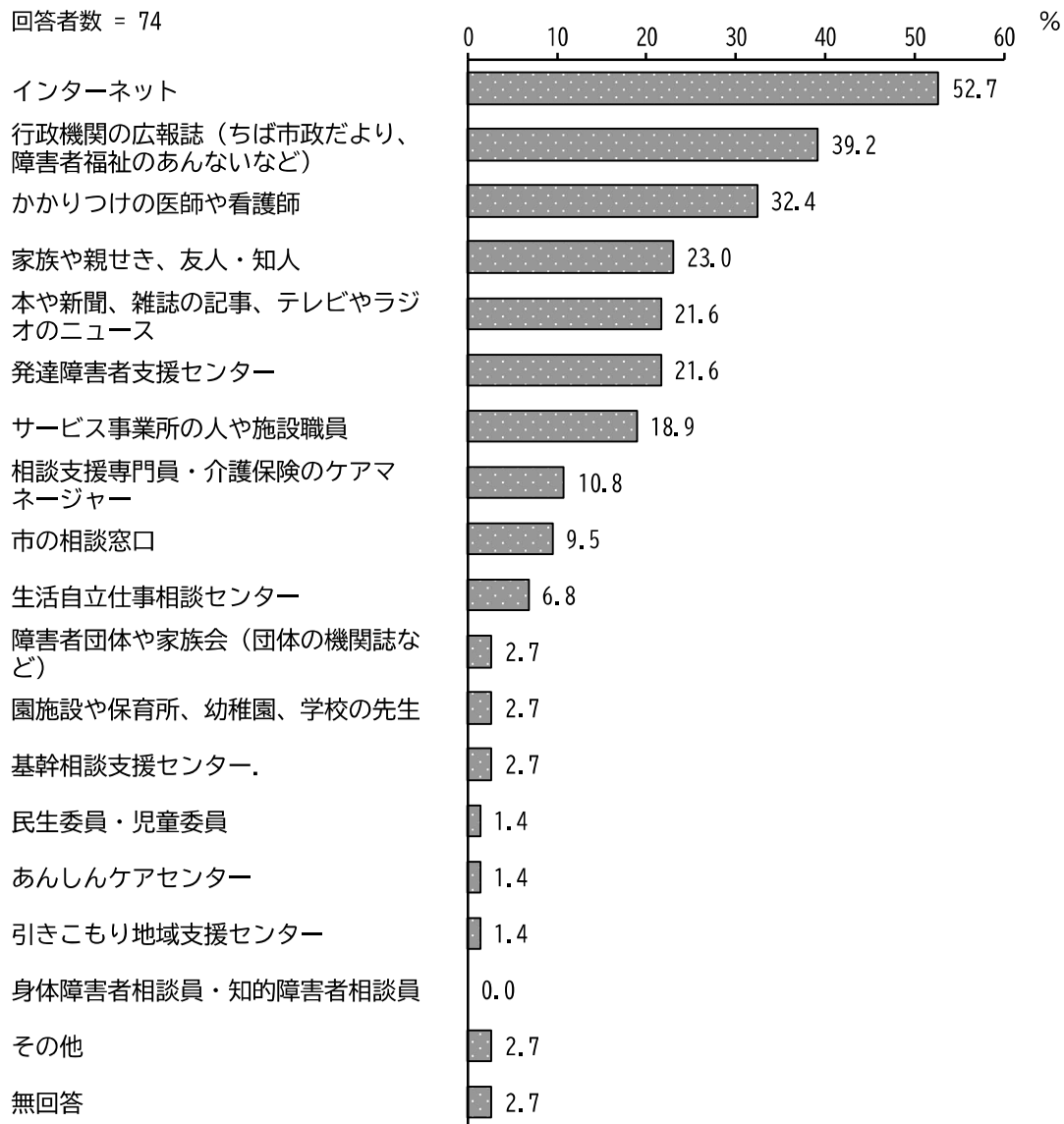
問 45 あなた（やご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。（あてはまるものすべてに○）

「電話による相談」の割合が 64.9%と最も高く、次いで「電子メールやインターネットによる相談」の割合が 37.8%、「SNS による相談」の割合が 18.9%となっています。



問 46 あなた（やご家族の方）は障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

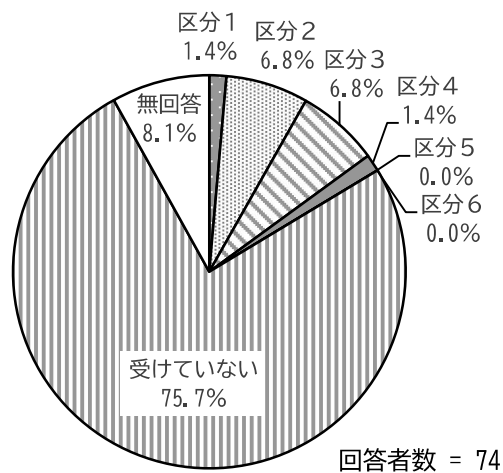
「インターネット」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「行政機関の広報誌（ちば市政だより、障害者福祉のあんないなど）」の割合が 39.2%、「かかりつけの医師や看護師」の割合が 32.4%となっています。



(8) 障害福祉サービス等の利用について

問 47 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

「受けていない」の割合が75.7%と最も高く、次いで「区分2」、「区分3」がともに6.8%、「区分1」、「区分4」がともに1.4%となっています。

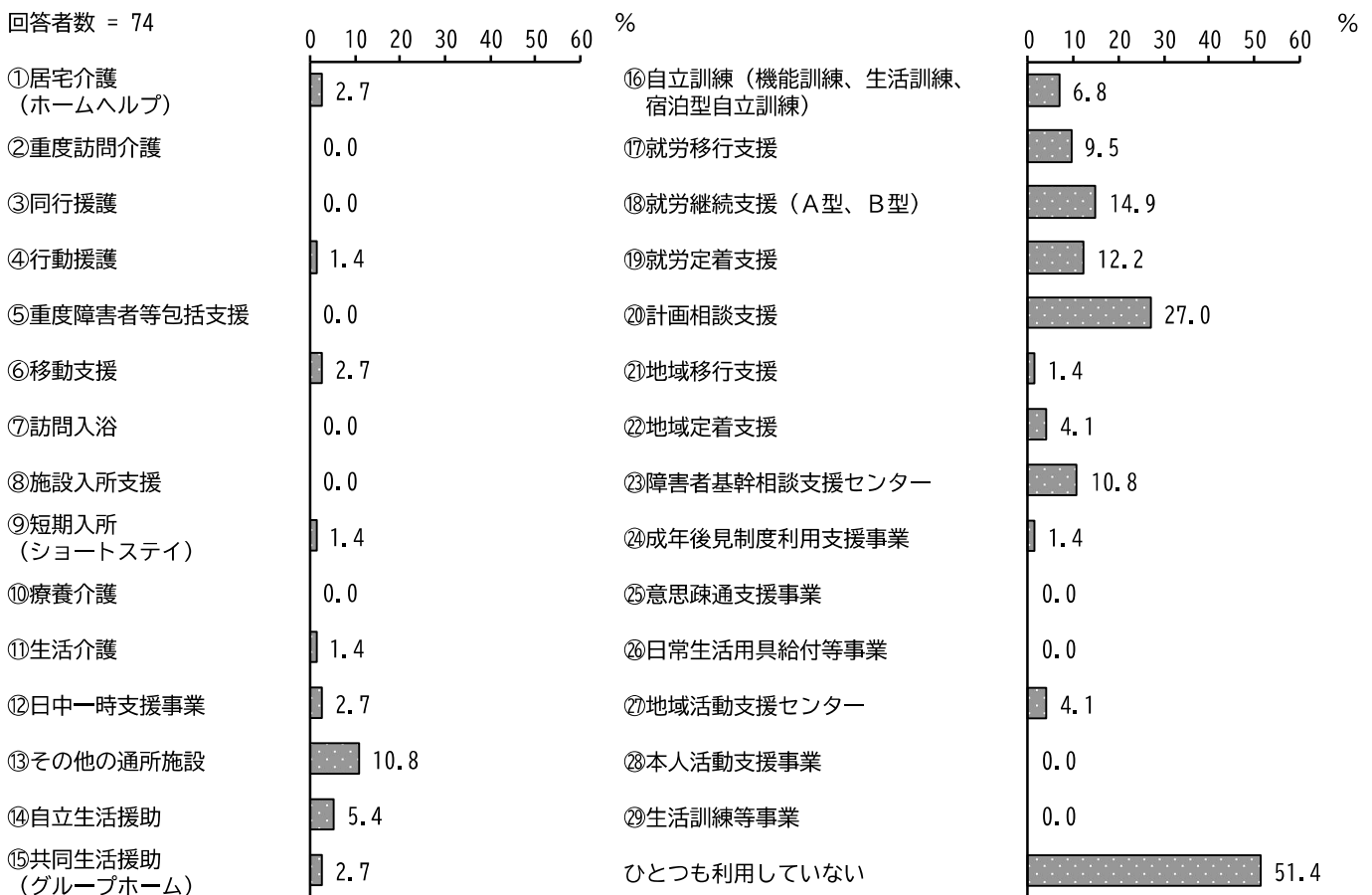


問 48 あなたは次のサービスを利用していますか。また、これから利用する予定はありますか。(①～⑳のサービスごとに、「現在の利用」と「今後3年以内の利用予定」の両方をお答えください(番号に○をしてください)。※㉑～㉓のサービスは18歳未満の方のみお答えください。また、現在の利用で「2. 利用していない」または、今後3年以内の利用予定で「4. 利用予定がない」と答えた場合、その理由をそれぞれお答えください。(下の表の選択肢ア～サから選んで記載ください。)

現在の利用

「㉑計画相談支援」の割合が27.0%と最も高く、次いで「㉒就労継続支援(A型、B型)」の割合が14.9%、「㉓就労定着支援」の割合が12.2%となっています。

回答者数 = 74



利用していない場合の理由

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | サービスを受ける必要がないため | サービスの対象者に含まれないため※年齢制限・障害支援区分が合致しない等 | 既に別のサービスの提供を受けているため | サービス利用時間の都合が合わないため | 地域にサービス提供場所がないため | 利用料金がかかるため |
|--------------------------|---------|-----------------|-------------------------------------|---------------------|--------------------|------------------|------------|
| ①居宅介護（ホームヘルプ） | 61 | 77.0 | 3.3 | - | - | - | 1.6 |
| ②重度訪問介護 | 63 | 79.4 | 3.2 | - | - | - | 1.6 |
| ③同行援護 | 62 | 72.6 | 9.7 | - | - | - | 1.6 |
| ④行動援護 | 62 | 75.8 | 3.2 | - | - | - | 1.6 |
| ⑤重度障害者等包括支援 | 63 | 79.4 | 3.2 | - | - | - | 1.6 |
| ⑥移動支援 | 62 | 77.4 | 4.8 | - | - | - | 1.6 |
| ⑦訪問入浴 | 63 | 82.5 | 1.6 | - | - | - | 1.6 |
| ⑧施設入所支援 | 62 | 82.3 | 1.6 | - | - | - | 1.6 |
| ⑨短期入所（ショートステイ） | 62 | 77.4 | 1.6 | - | - | 1.6 | 4.8 |
| ⑩療養介護 | 63 | 79.4 | 1.6 | - | - | - | 4.8 |
| ⑪生活介護 | 60 | 78.3 | 1.7 | - | - | - | 5.0 |
| ⑫日中一時支援事業 | 61 | 72.1 | - | - | 1.6 | - | 3.3 |
| ⑬その他の通所施設 | 54 | 75.9 | - | - | 1.9 | - | - |
| ⑭自立生活援助 | 60 | 63.3 | 1.7 | - | 3.3 | - | - |
| ⑮共同生活援助（グループホーム） | 62 | 69.4 | - | - | 1.6 | 1.6 | 3.2 |
| ⑯自立訓練（機能訓練、生活訓練、宿泊型自立訓練） | 57 | 68.4 | 1.8 | - | 3.5 | 1.8 | 1.8 |
| ⑰就労移行支援 | 56 | 46.4 | 1.8 | 10.7 | 3.6 | 1.8 | - |
| ⑱就労継続支援（A型、B型） | 53 | 54.7 | 1.9 | 9.4 | 1.9 | 1.9 | - |
| ⑲就労定着支援 | 53 | 52.8 | 1.9 | 7.5 | - | 1.9 | - |
| ⑳計画相談支援 | 43 | 65.1 | - | - | 2.3 | 4.7 | - |
| ㉑地域移行支援 | 60 | 66.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 3.3 | - |
| ㉒地域定着支援 | 59 | 66.1 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 3.4 | - |
| ㉓障害者基幹相談支援センター | 53 | 54.7 | - | - | 1.9 | 3.8 | - |
| ㉔成年後見制度利用支援事業 | 60 | 70.0 | 3.3 | - | - | - | - |
| ㉕意思疎通支援事業 | 61 | 75.4 | 3.3 | - | 1.6 | - | - |
| ㉖日常生活用具給付等事業 | 60 | 76.7 | 6.7 | - | - | - | - |
| ㉗地域活動支援センター | 58 | 67.2 | 1.7 | - | - | 1.7 | 1.7 |
| ㉘本人活動支援事業 | 61 | 75.4 | 3.3 | - | - | - | - |
| ㉙生活訓練等事業 | 61 | 75.4 | 6.6 | - | 1.6 | - | - |

単位：%

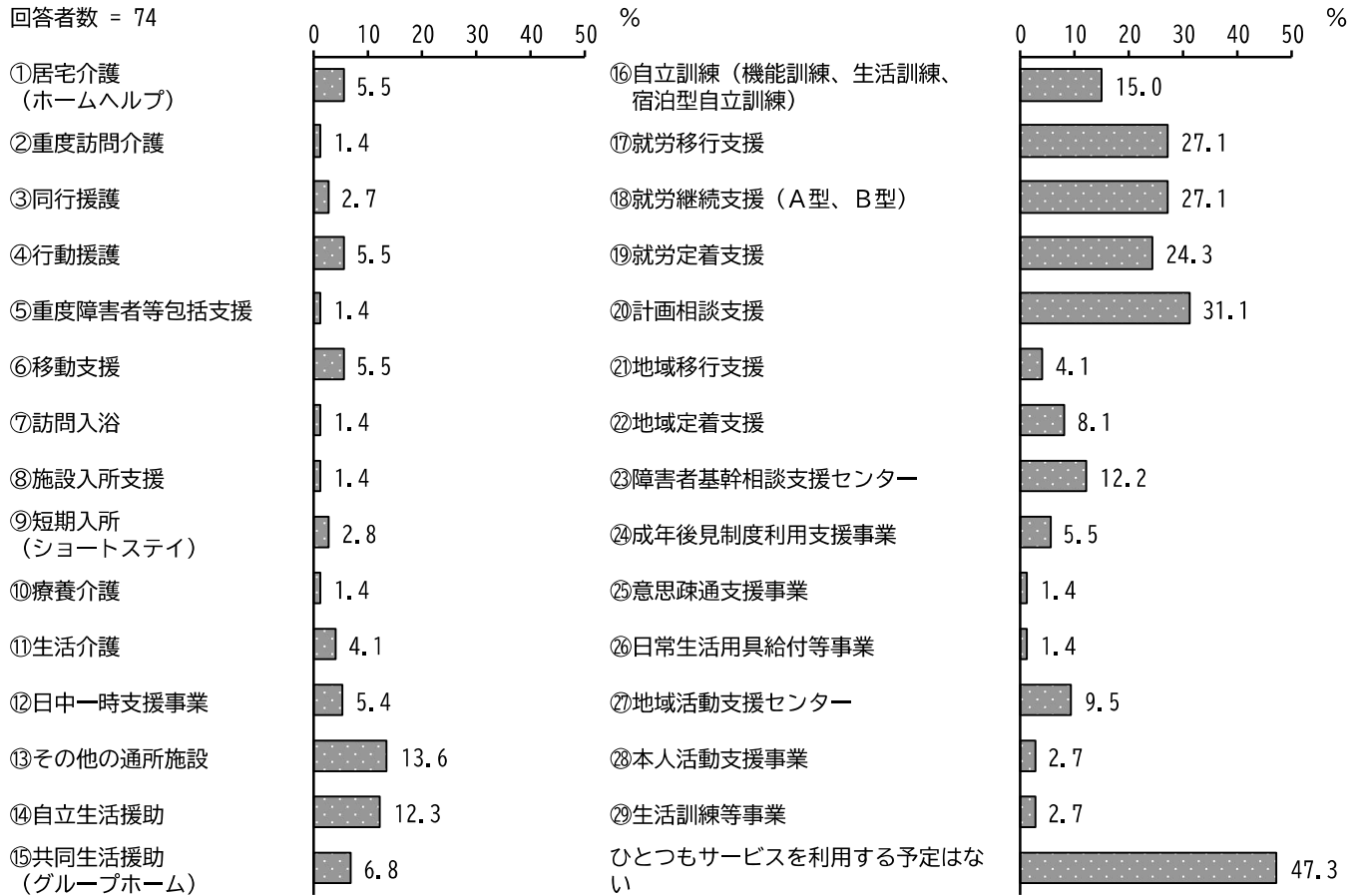
| 区分 | サービスがあることを知らなかったため | 障害特性により利用できる事業所がないから | 親などの介助者が仕事を休まなくてはならなかったため | 家族以外から支援やサービスを利用することに抵抗があるため | その他 | 無回答 |
|--------------------------|--------------------|----------------------|---------------------------|------------------------------|------|------|
| ①居宅介護（ホームヘルプ） | - | - | - | - | 1.6 | 16.4 |
| ②重度訪問介護 | - | - | - | - | - | 15.9 |
| ③同行援護 | - | - | - | - | - | 16.1 |
| ④行動援護 | 1.6 | - | - | - | - | 17.7 |
| ⑤重度障害者等包括支援 | - | - | - | - | - | 15.9 |
| ⑥移動支援 | 1.6 | - | - | - | 1.6 | 14.5 |
| ⑦訪問入浴 | 1.6 | - | - | - | - | 14.3 |
| ⑧施設入所支援 | 1.6 | - | - | - | 1.6 | 12.9 |
| ⑨短期入所（ショートステイ） | - | - | - | - | - | 14.5 |
| ⑩療養介護 | - | - | - | - | - | 14.3 |
| ⑪生活介護 | - | - | - | 1.7 | - | 13.3 |
| ⑫日中一時支援事業 | 4.9 | - | - | 3.3 | - | 14.8 |
| ⑬その他の通所施設 | 1.9 | - | - | 3.7 | - | 16.7 |
| ⑭自立生活援助 | 10.0 | - | - | 5.0 | - | 16.7 |
| ⑮共同生活援助（グループホーム） | 1.6 | - | - | 6.5 | - | 16.1 |
| ⑯自立訓練（機能訓練、生活訓練、宿泊型自立訓練） | 5.3 | - | - | 5.3 | - | 12.3 |
| ⑰就労移行支援 | 7.1 | - | - | 5.4 | 10.7 | 12.5 |
| ⑱就労継続支援（A型、B型） | 5.7 | - | - | 5.7 | 7.5 | 11.3 |
| ⑲就労定着支援 | 9.4 | - | - | 5.7 | 5.7 | 15.1 |
| ⑳計画相談支援 | 7.0 | - | - | 2.3 | 4.7 | 14.0 |
| ㉑地域移行支援 | 6.7 | 1.7 | - | 1.7 | 1.7 | 13.3 |
| ㉒地域定着支援 | 6.8 | 1.7 | - | 1.7 | 1.7 | 13.6 |
| ㉓障害者基幹相談支援センター | 18.9 | - | - | 1.9 | 3.8 | 15.1 |
| ㉔成年後見制度利用支援事業 | 8.3 | - | - | 3.3 | 1.7 | 13.3 |
| ㉕意思疎通支援事業 | 4.9 | 1.6 | - | - | - | 13.1 |
| ㉖日常生活用具給付等事業 | 3.3 | - | - | - | - | 13.3 |
| ㉗地域活動支援センター | 8.6 | 1.7 | - | 3.4 | - | 13.8 |
| ㉘本人活動支援事業 | 6.6 | 1.6 | - | - | - | 13.1 |
| ㉙生活訓練等事業 | 3.3 | - | - | - | - | 13.1 |

（前ページの表 続き）

今後3年以内の利用予定

「⑳計画相談支援」の割合が31.1%と最も高く、次いで「⑰就労移行支援」、「⑱就労継続支援（A型、B型）」の割合が27.1%となっています。

回答者数 = 74



利用予定がない場合の理由

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | サービスを受ける必要がないため | サービスの対象者に含まれないため※年齢制限・障害支援区分が合致しない等 | 既に別のサービスの提供を受けているため | サービス利用時間の都合が合わないため | 地域にサービス提供場所がないため | 利用料金がかかるため |
|--------------------------|---------|-----------------|-------------------------------------|---------------------|--------------------|------------------|------------|
| ①居宅介護（ホームヘルプ） | 53 | 86.8 | 1.9 | - | - | - | 1.9 |
| ②重度訪問介護 | 57 | 86.0 | 3.5 | - | - | - | 1.8 |
| ③同行援護 | 55 | 83.6 | 7.3 | - | - | - | 1.8 |
| ④行動援護 | 53 | 88.7 | - | - | - | - | 1.9 |
| ⑤重度障害者等包括支援 | 56 | 87.5 | 3.6 | - | - | - | 1.8 |
| ⑥移動支援 | 55 | 89.1 | - | - | - | - | 1.8 |
| ⑦訪問入浴 | 57 | 89.5 | 1.8 | - | - | - | 1.8 |
| ⑧施設入所支援 | 57 | 89.5 | 1.8 | - | - | - | 1.8 |
| ⑨短期入所（ショートステイ） | 56 | 85.7 | 1.8 | - | - | - | 3.6 |
| ⑩療養介護 | 57 | 84.2 | 3.5 | - | - | - | 3.5 |
| ⑪生活介護 | 55 | 87.3 | - | - | - | - | 1.8 |
| ⑫日中一時支援事業 | 53 | 77.4 | 3.8 | - | - | - | 3.8 |
| ⑬その他の通所施設 | 50 | 80.0 | - | - | 2.0 | - | - |
| ⑭自立生活援助 | 51 | 78.4 | 3.9 | - | - | - | 2.0 |
| ⑮共同生活援助（グループホーム） | 54 | 75.9 | - | - | - | - | 3.7 |
| ⑯自立訓練（機能訓練、生活訓練、宿泊型自立訓練） | 48 | 77.1 | 2.1 | - | - | - | 2.1 |
| ⑰就労移行支援 | 38 | 60.5 | 5.3 | 2.6 | 2.6 | 2.6 | 2.6 |
| ⑱就労継続支援（A型、B型） | 40 | 75.0 | - | 2.5 | - | 2.5 | 2.5 |
| ⑲就労定着支援 | 39 | 64.1 | 5.1 | - | - | 2.6 | - |
| ⑳計画相談支援 | 36 | 80.6 | - | - | - | 5.6 | - |
| ㉑地域移行支援 | 54 | 74.1 | 1.9 | - | 1.9 | 3.7 | - |
| ㉒地域定着支援 | 51 | 76.5 | 2.0 | - | 2.0 | 3.9 | - |
| ㉓障害者基幹相談支援センター | 48 | 60.4 | - | 6.3 | 2.1 | 4.2 | - |
| ㉔成年後見制度利用支援事業 | 53 | 81.1 | 1.9 | - | - | - | - |
| ㉕意思疎通支援事業 | 56 | 80.4 | 7.1 | - | 1.8 | - | - |
| ㉖日常生活用具給付等事業 | 56 | 82.1 | 8.9 | - | - | - | - |
| ㉗地域活動支援センター | 50 | 76.0 | - | - | - | 2.0 | 4.0 |
| ㉘本人活動支援事業 | 55 | 85.5 | 3.6 | - | - | - | - |
| ㉙生活訓練等事業 | 55 | 83.6 | 5.5 | - | - | - | - |

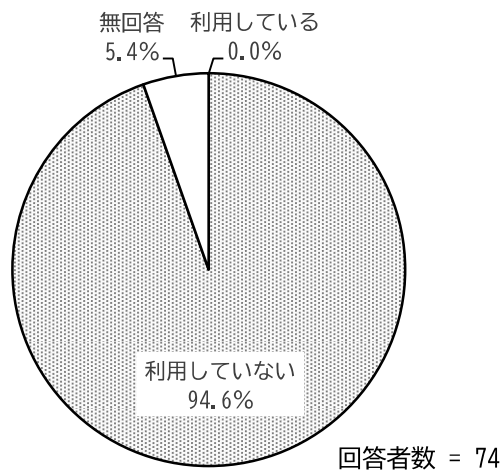
単位：%

| 区分 | サービスがあることを知らなかったため | 障害特性により利用できる事業所がないから | 親などの介助者が仕事を休まなくてはならなかったため | 家族以外から支援やサービスを利用することに抵抗があるため | その他 | 無回答 |
|--------------------------|--------------------|----------------------|---------------------------|------------------------------|------|------|
| ①居宅介護（ホームヘルプ） | - | - | - | - | - | 9.4 |
| ②重度訪問介護 | - | - | - | - | - | 8.8 |
| ③同行援護 | - | - | - | - | - | 7.3 |
| ④行動援護 | - | - | - | - | 1.9 | 7.5 |
| ⑤重度障害者等包括支援 | - | - | - | - | - | 7.1 |
| ⑥移動支援 | - | - | - | - | - | 9.1 |
| ⑦訪問入浴 | - | - | - | - | - | 7.0 |
| ⑧施設入所支援 | - | - | - | - | - | 7.0 |
| ⑨短期入所（ショートステイ） | - | - | - | - | - | 8.9 |
| ⑩療養介護 | - | - | - | - | - | 8.8 |
| ⑪生活介護 | - | - | - | - | 1.8 | 9.1 |
| ⑫日中一時支援事業 | 1.9 | - | - | 3.8 | - | 9.4 |
| ⑬その他の通所施設 | - | - | - | 4.0 | 4.0 | 10.0 |
| ⑭自立生活援助 | 3.9 | - | - | 2.0 | - | 9.8 |
| ⑮共同生活援助（グループホーム） | 1.9 | - | - | 9.3 | 1.9 | 7.4 |
| ⑯自立訓練（機能訓練、生活訓練、宿泊型自立訓練） | - | - | - | 2.1 | 4.2 | 12.5 |
| ⑰就労移行支援 | 2.6 | - | - | 2.6 | 13.2 | 7.9 |
| ⑱就労継続支援（A型、B型） | 2.5 | - | - | 5.0 | 5.0 | 10.0 |
| ⑲就労定着支援 | 5.1 | - | - | 5.1 | 7.7 | 10.3 |
| ⑳計画相談支援 | - | - | - | 5.6 | 2.8 | 5.6 |
| ㉑地域移行支援 | 1.9 | 1.9 | - | 3.7 | 1.9 | 9.3 |
| ㉒地域定着支援 | - | 2.0 | - | 3.9 | 2.0 | 7.8 |
| ㉓障害者基幹相談支援センター | 4.2 | - | - | 4.2 | 8.3 | 10.4 |
| ㉔成年後見制度利用支援事業 | 5.7 | - | - | 1.9 | 1.9 | 7.5 |
| ㉕意思疎通支援事業 | 3.6 | - | - | - | - | 7.1 |
| ㉖日常生活用具給付等事業 | 1.8 | - | - | - | - | 7.1 |
| ㉗地域活動支援センター | 2.0 | 2.0 | - | 4.0 | 2.0 | 8.0 |
| ㉘本人活動支援事業 | 3.6 | - | - | - | - | 7.3 |
| ㉙生活訓練等事業 | 3.6 | - | - | - | - | 7.3 |

（前ページの表 続き）

問 49 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つだけ)

「利用していない」の割合が94.6%となっています。



【問 50、51 は、問 55 で、「1. 利用している」を選択した方にお聞きします。】

問 50 該当する要介護度はどれですか。(○は1つだけ)

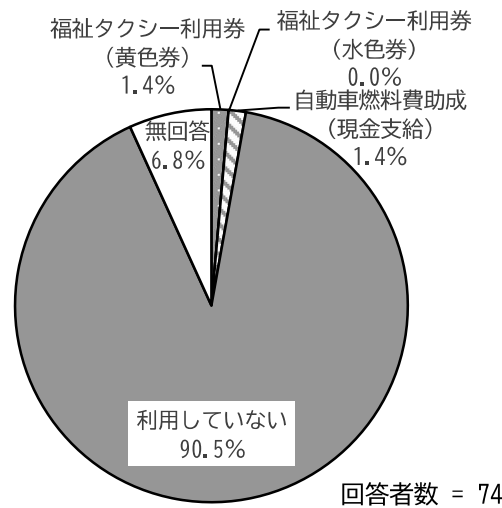
有効回答がありませんでした。

問 51 利用している介護保険サービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

有効回答がありませんでした。

問 52 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料費助成（現金支給）を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（○は1つだけ）

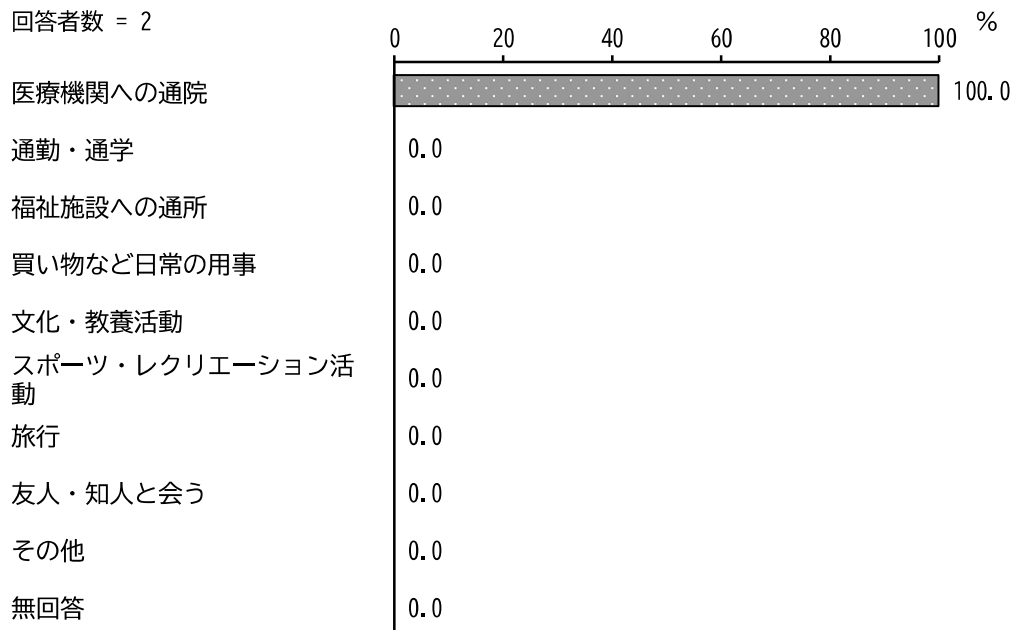
「利用していない」の割合が90.5%と最も高くなっています。



【問 52 で4. 以外を選択した場合にお答えください。】

問 53 福祉タクシー利用券・自動車燃料費助成（現金支給）の主な使い道はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

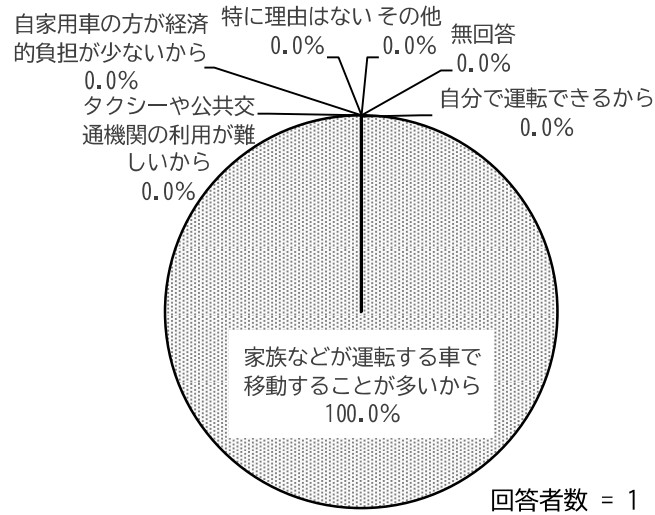
「医療機関への通院」が2件となっています。



【問 52 で 3. を選択した場合にお答えください。】

問 54 福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料費助成（現金支給）を選んでいる理由は何ですか。（○は1つだけ）

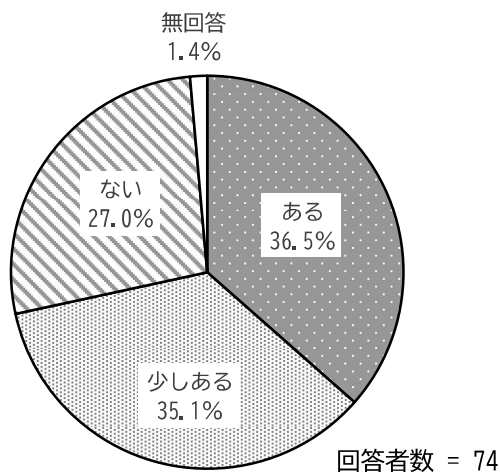
「家族などが運転する車で移動することが多いから」が1件となっています。



(9) 権利擁護について

問 55 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。
（○は1つだけ）

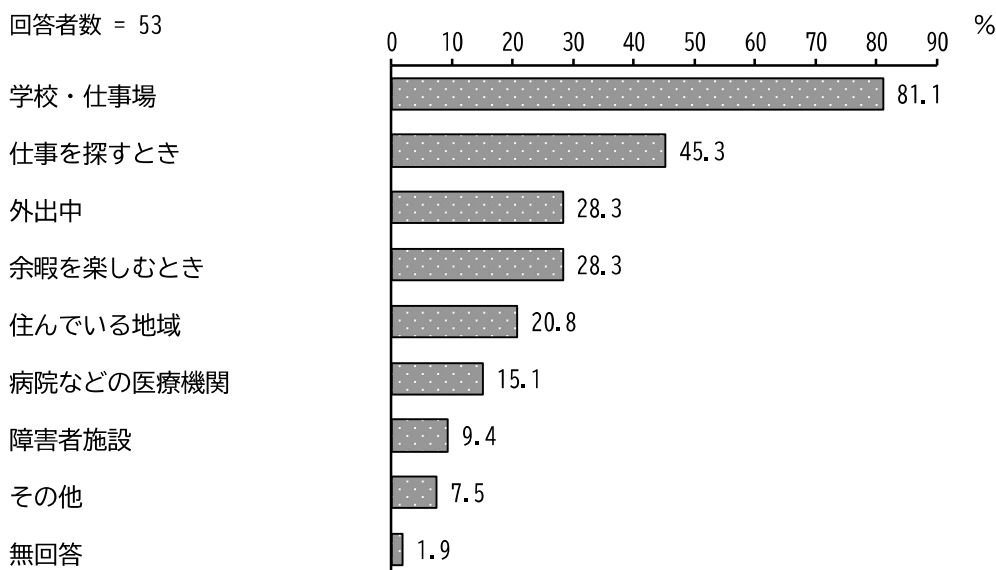
「ある」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「少しある」の割合が 35.1%、「ない」の割合が 27.0%となっています。



【問 55 で、1. 又は 2. と回答された方にお聞きします。】

問 56 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。（あてはまるものすべてに○）

「学校・仕事場」の割合が 81.1%と最も高く、次いで「仕事を探すとき」の割合が 45.3%、「外出中」、「余暇を楽しむとき」の割合が 28.3%となっています。

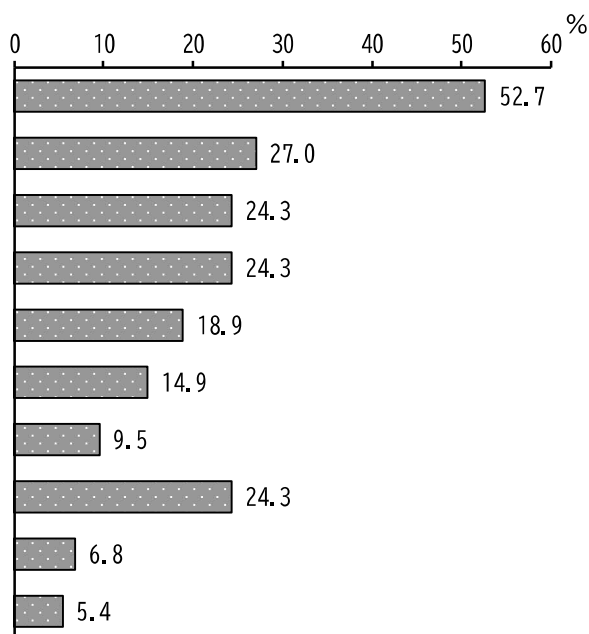


問 57 あなたは、障害者に対する差別を解消するために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(あてはまるものすべてに○)

「市民や民間事業者に対して障害者差別解消に関する周知・啓発」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「ストラップ型ヘルプマークやヘルプカードの周知・啓発」の割合が 27.0%、「障害者差別解消に係るセミナー等の開催」、「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」の割合が 24.3%となっています。

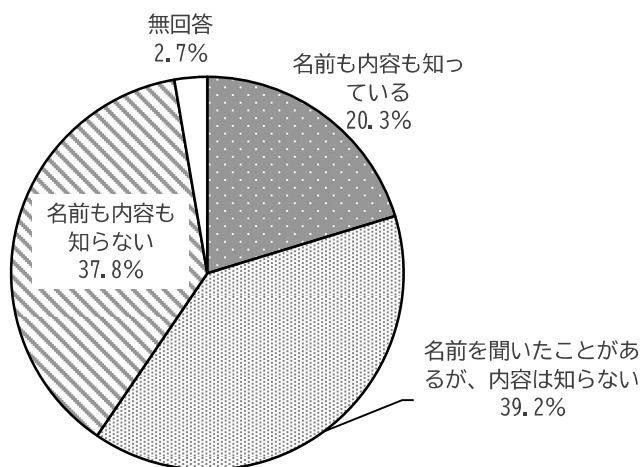
回答者数 = 74

市民や民間事業者に対して障害者差別解消に関する周知・啓発
 ストラップ型ヘルプマークやヘルプカードの周知・啓発
 障害者差別解消に係るセミナー等の開催
 障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修
 意思疎通のために絵や写真、カード、ICT 機器（タブレット端末等）等の活用
 筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置
 上記6以外の各種障害者に関するマークの周知・啓発
 特になし
 その他
 無回答



問 58 成年後見制度についてご存じですか。(○は1つだけ)

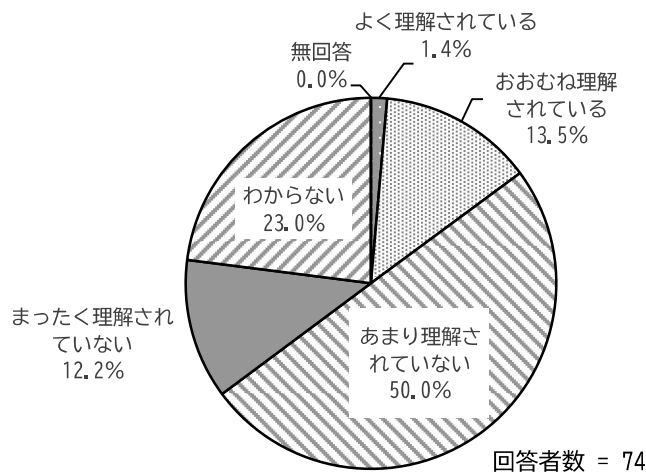
「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「名前も内容も知らない」の割合が 37.8%、「名前も内容も知っている」の割合が 20.3%となっています。



回答者数 = 74

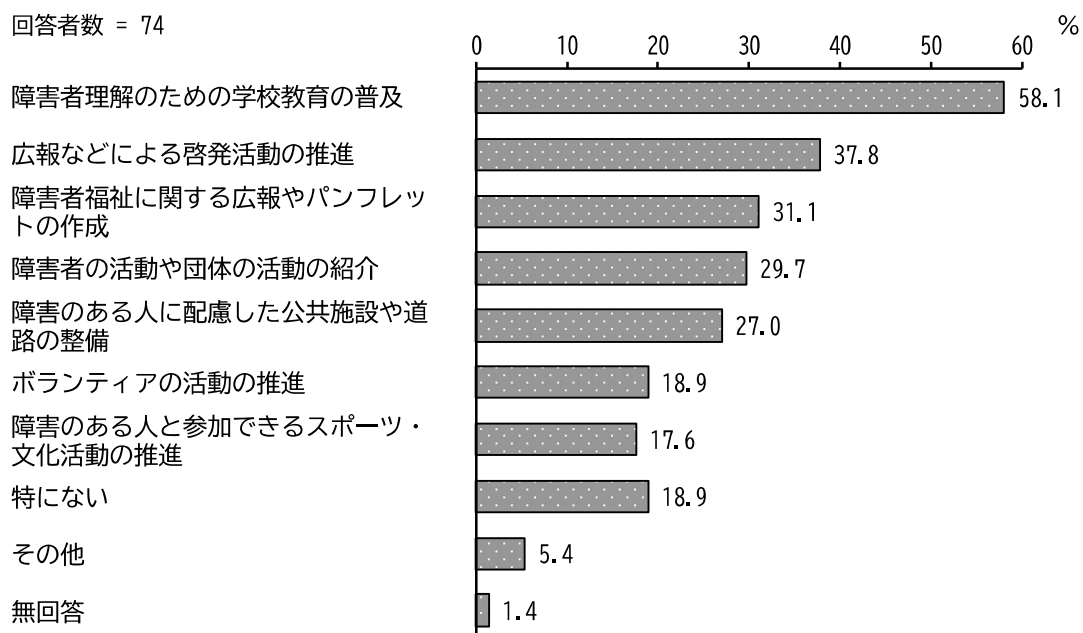
問 59 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つだけ)

「あまり理解されていない」の割合が50.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が23.0%、「おおむね理解されている」の割合が13.5%となっています。



問 60 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(あてはまるものすべてに○)

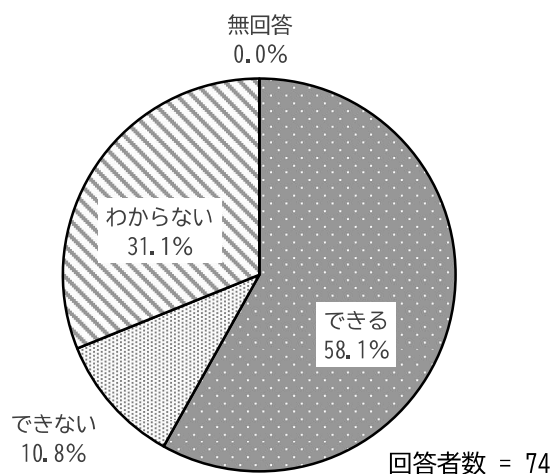
「障害者理解のための学校教育の普及」の割合が58.1%と最も高く、次いで「広報などによる啓発活動の推進」の割合が37.8%、「障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成」の割合が31.1%となっています。



(10) 災害時の避難等について

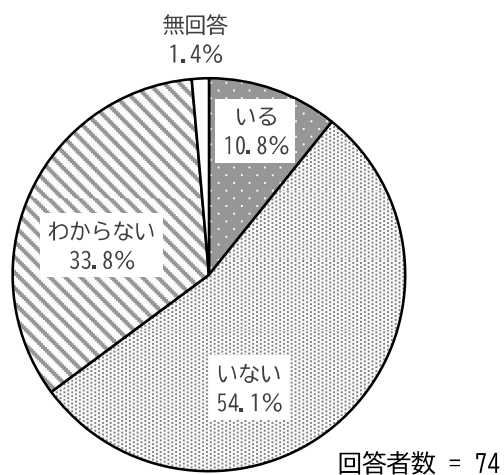
問 61 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

「できる」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 31.1%、「できない」の割合が 10.8%となっています。



問 62 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)

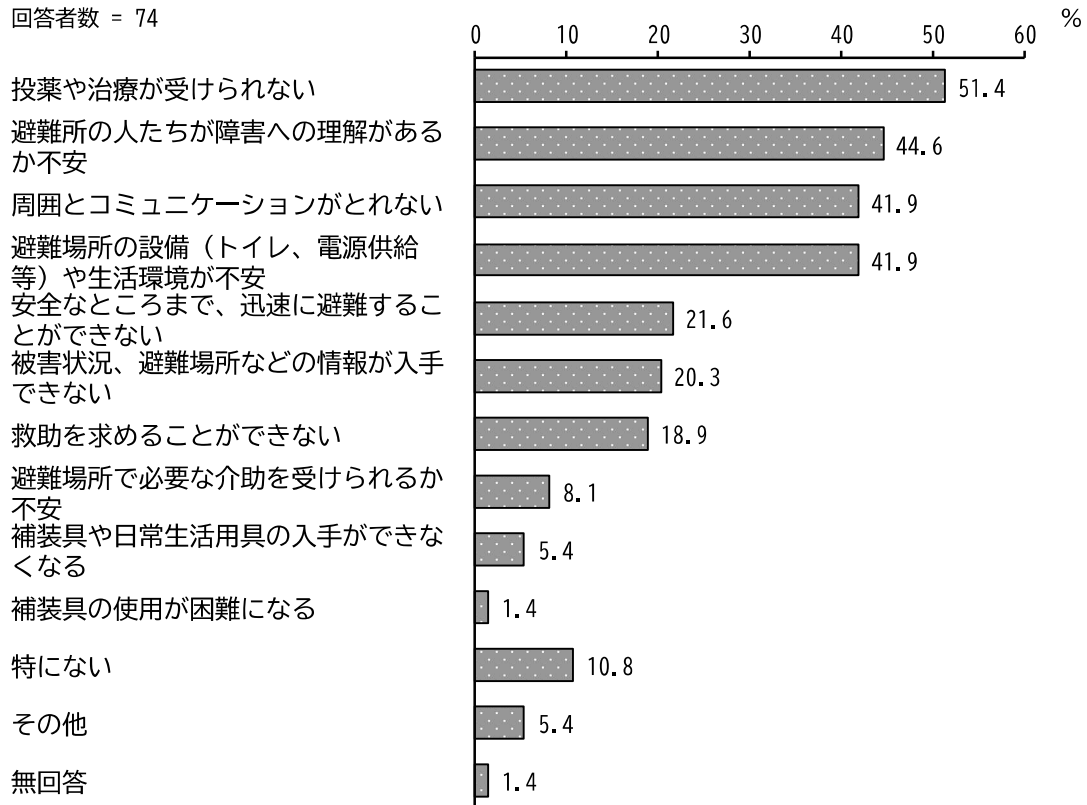
「いない」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 33.8%、「いる」の割合が 10.8%となっています。



問 63 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

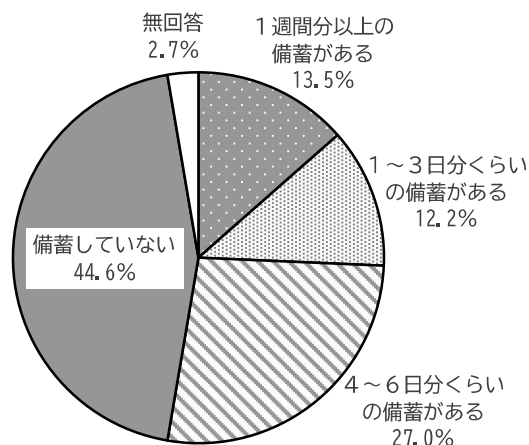
「投薬や治療が受けられない」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「避難所の人たちが障害への理解があるか不安」の割合が 44.6%、「周囲とコミュニケーションがとれない」、「避難場所の設備（トイレ、電源供給等）や生活環境が不安」の割合が 41.9%となっています。

回答者数 = 74



問 64 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。(○は1つだけ)

「備蓄していない」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「4～6日分くらいの備蓄がある」の割合が 27.0%、「1週間分以上の備蓄がある」の割合が 13.5%となっています。

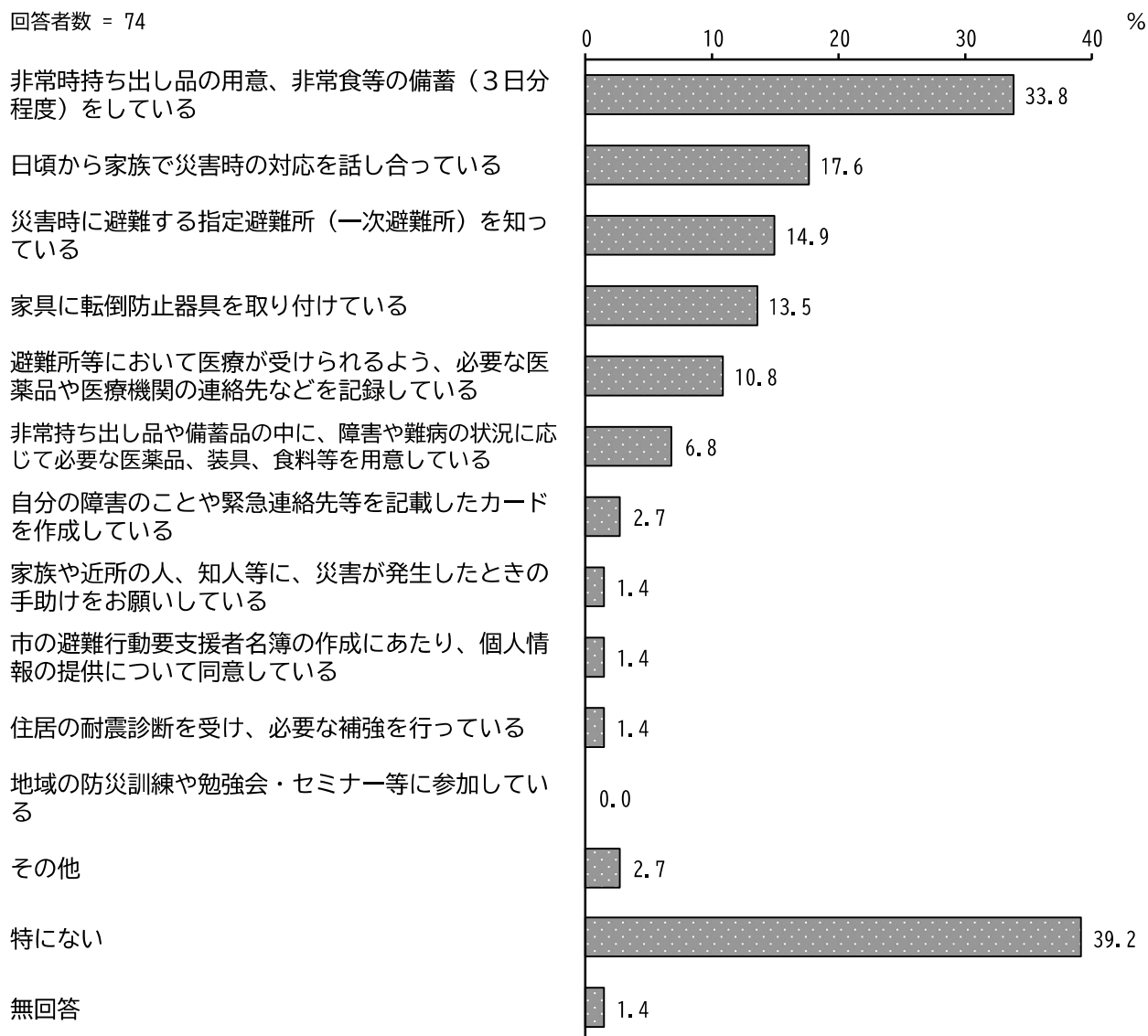


回答者数 = 74

問 65 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

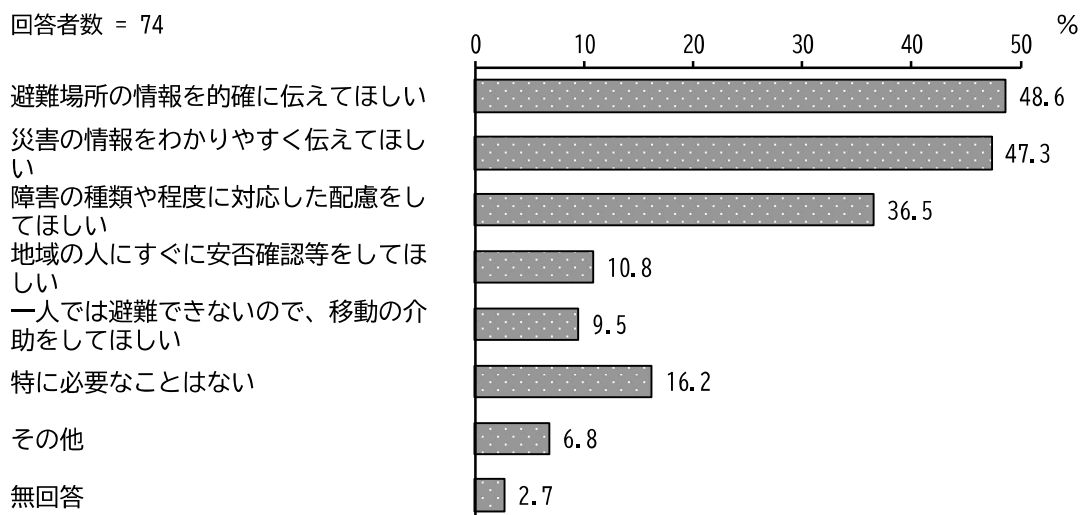
「特にない」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている」の割合が 33.8%、「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」の割合が 17.6%となっています。

回答者数 = 74



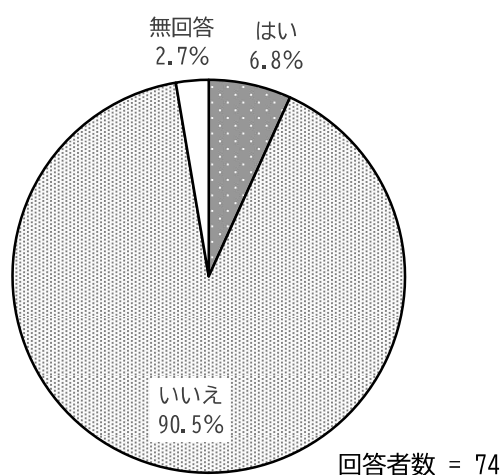
問 66 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。
(あてはまるものすべてに○)

「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「災害の情報をわかりやすく伝えてほしい」の割合が 47.3%、「障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい」の割合が 36.5%となっています。



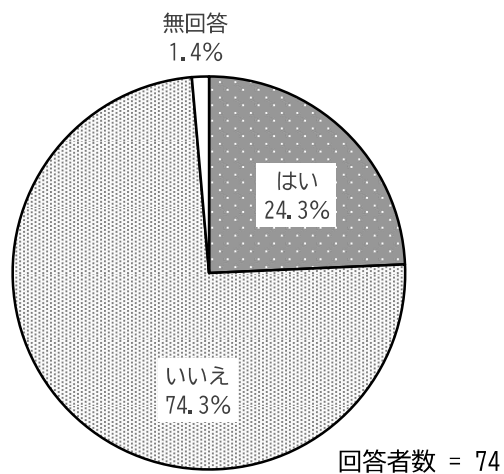
問 67 災害時には、家具が倒れないよう固定するなどの家具転倒対策が、ご自身の身を守るために有効です。家具の転倒を防止するための金具などを自ら取り付けることが困難な世帯に、取付事業者による施工費用の一部を助成する「家具転倒防止対策事業※」があることを知っていますか (○は1つだけ)

「はい」の割合が 6.8%、「いいえ」の割合が 90.5%となっています。



問 68 「家具転倒防止対策事業」を利用したいと思いますか（○は1つだけ）

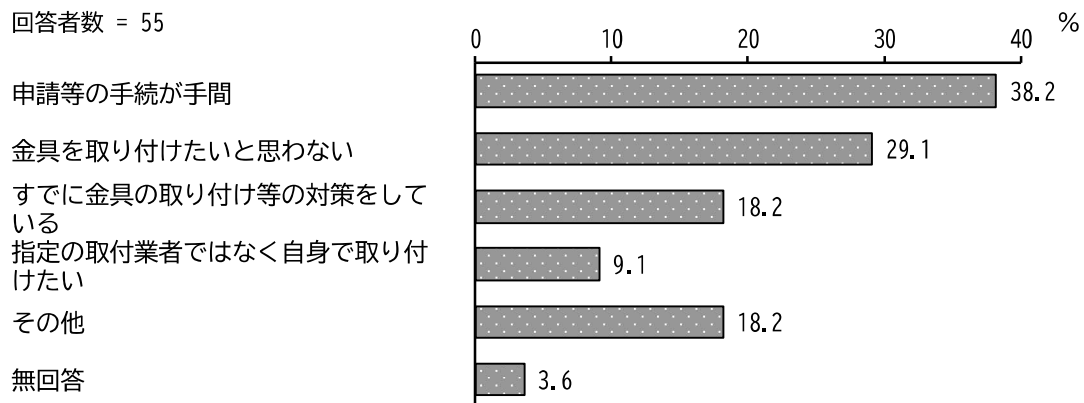
「はい」の割合が24.3%、「いいえ」の割合が74.3%となっています。



【問 68 で、2. と回答された方にお聞きします。】

問 69 利用したいと思わない理由はなんですか（○はいくつでも）

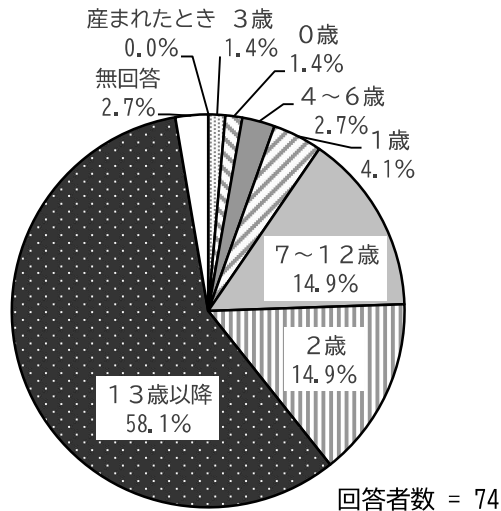
「申請等の手続きが手間」の割合が38.2%と最も高く、次いで「金具を取り付けたいと思わない」の割合が29.1%、「すでに金具の取り付け等の対策をしている」の割合が18.2%となっています。



(11) 療育・保育・教育について

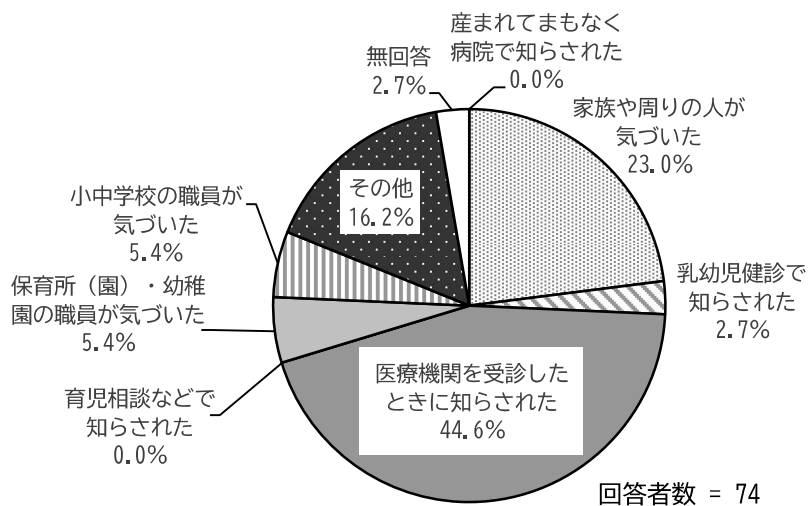
問 70 ご家族の方が、あなたの障害に気づいたのはいつですか。(○は1つだけ)

「13歳以降」の割合が58.1%と最も高く、次いで「7～12歳」、「2歳」の割合が14.9%となっています。



問 71 ご家族の方が、あなたの障害に気づいたきっかけは何ですか。(○は1つだけ)

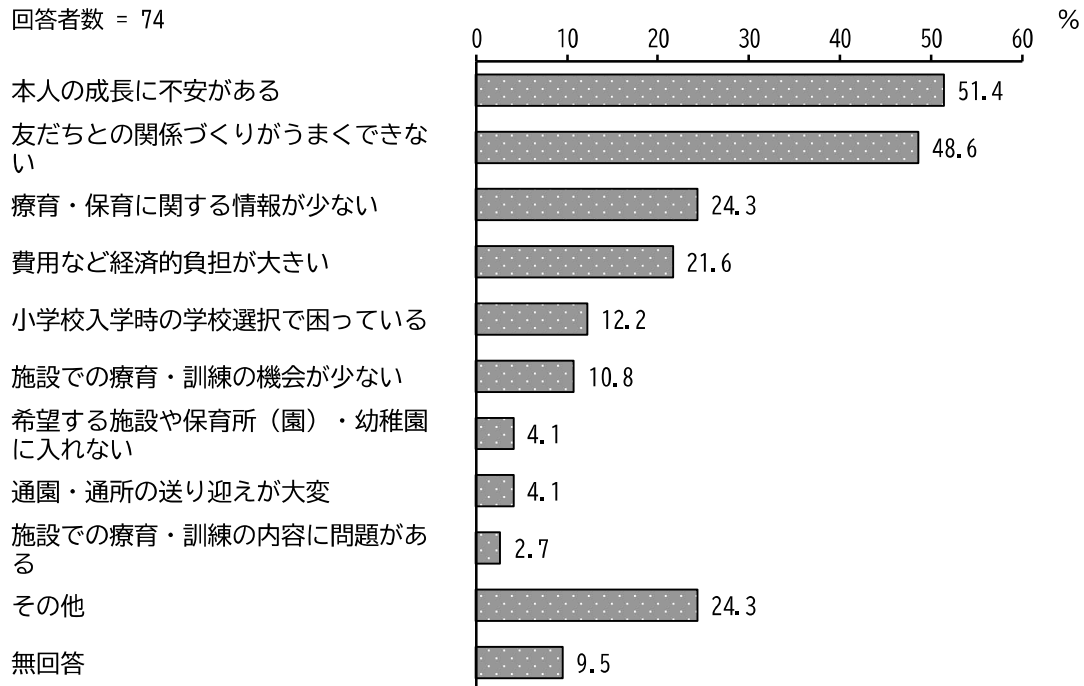
「医療機関を受診したときに知らされた」の割合が44.6%と最も高く、次いで「家族や周りの人が気づいた」の割合が23.0%となっています。



問 72 ご家族の方が、あなたの療育・保育について困っている（または過去に困った）
ことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「本人の成長に不安がある」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「友だちとの関係づくりがうまくできない」の割合が 48.6%、「療育・保育に関する情報が少ない」の割合が 24.3%となっています。

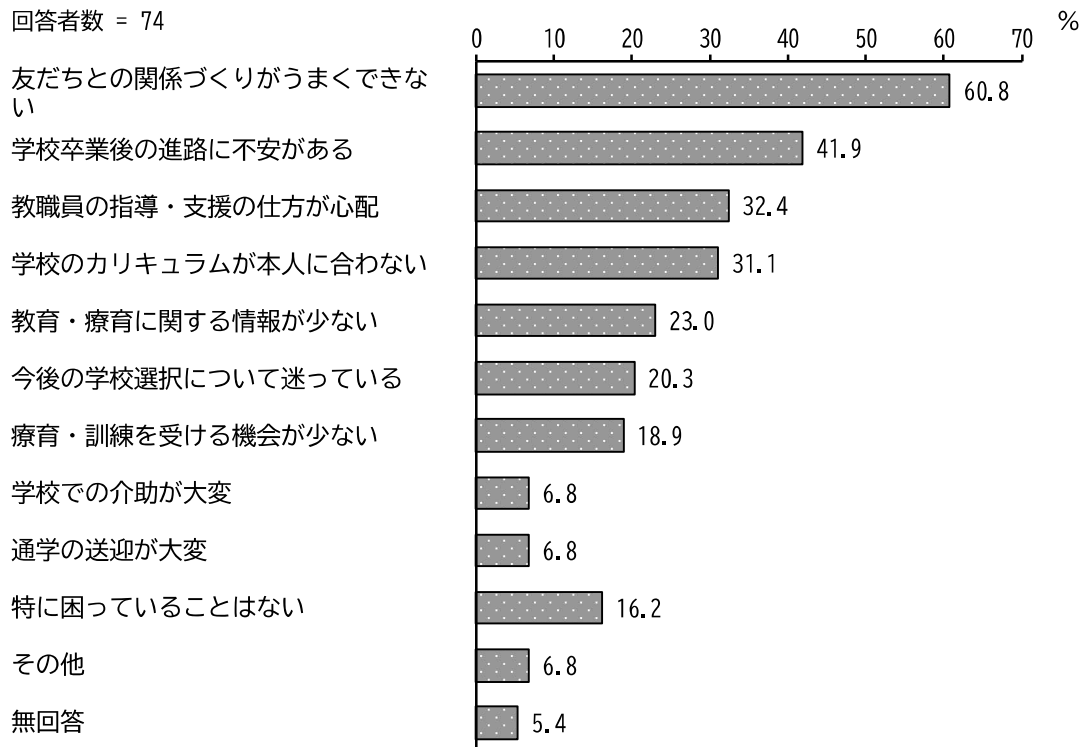
回答者数 = 74



問 73 あなた（ご家族の方）は、学校や教育について、困っている（または過去に困った）ことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「友だちとの関係づくりがうまくできない」の割合が 60.8%と最も高く、次いで「学校卒業後の進路に不安がある」の割合が 41.9%、「教職員の指導・支援の仕方が心配」の割合が 32.4%となっています。

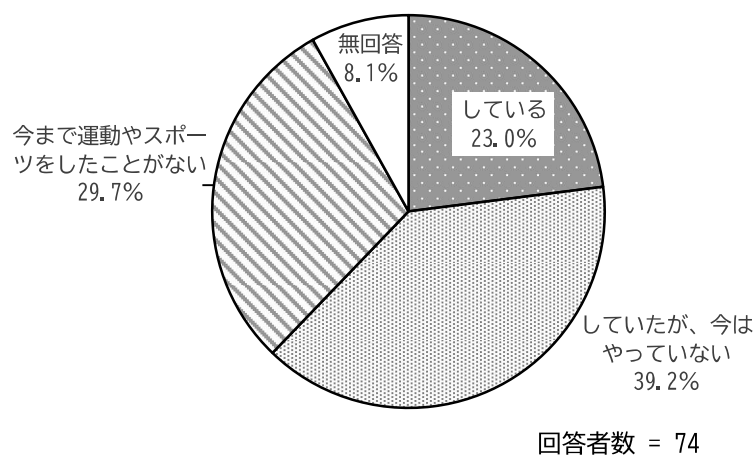
回答者数 = 74



(12) 運動やスポーツについて

問 81 あなたは、運動やスポーツをしていますか。(学校に通っている方は、学校の授業を除く) (○は1つだけ)

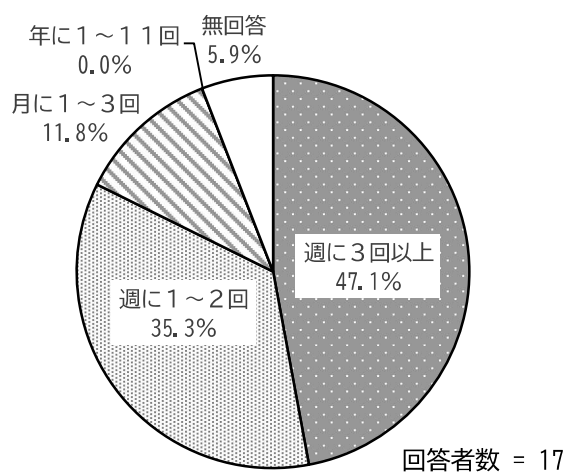
「していたが、今はやっていない」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「今まで運動やスポーツをしたことがない」の割合が 29.7%、「している」の割合が 23.0%となっています。



【問 82～84 は、問 81 で、「1. している」を選択した方にお聞きします。】

問 82 あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。(○は1つだけ)

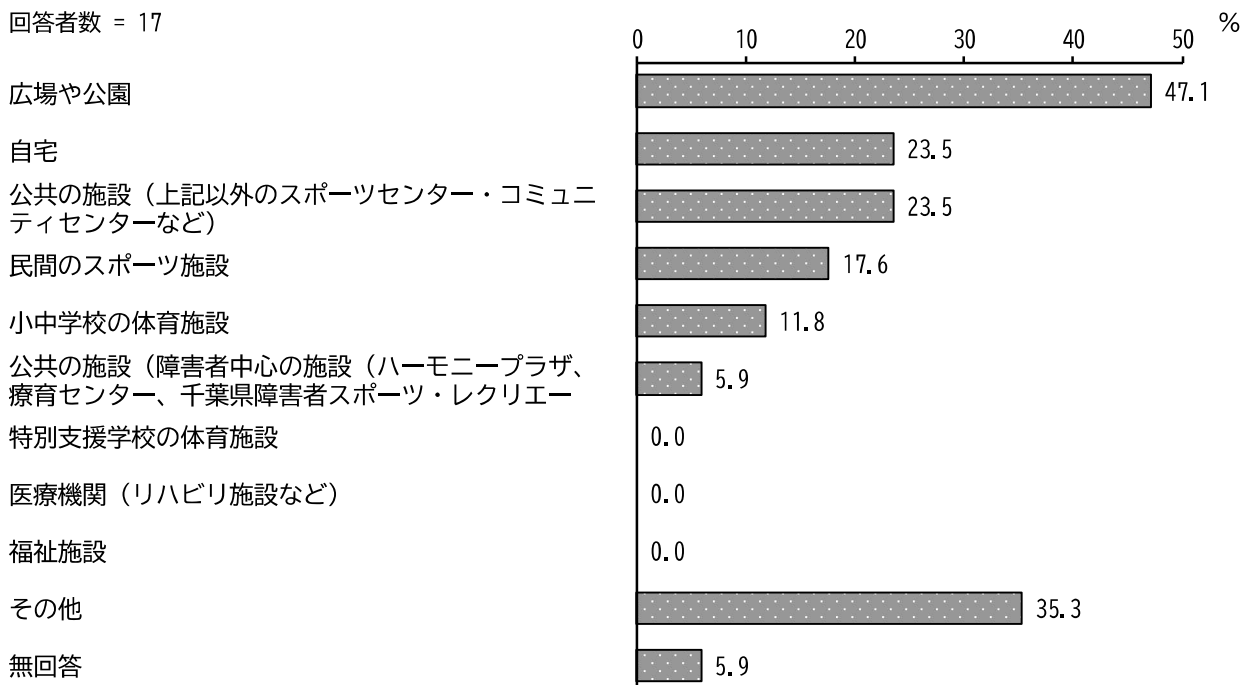
「週に3回以上」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「週に1～2回」の割合が 35.3%、「月に1～3回」の割合が 11.8%となっています。



問 83 あなたは、運動やスポーツをどこで行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「広場や公園」の割合が47.1%と最も高く、次いで「自宅」、「公共の施設（上記以外のスポーツセンター・コミュニティセンターなど）」の割合が23.5%となっています。

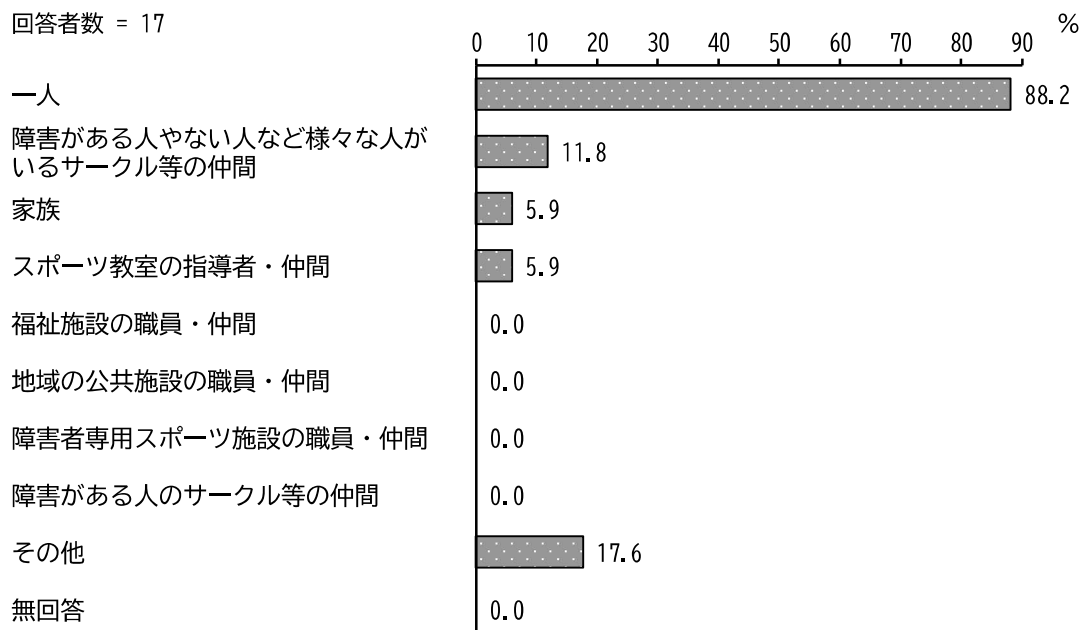
回答者数 = 17



問 84 あなたは、運動やスポーツを誰と行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「一人」の割合が88.2%と最も高く、次いで「障害がある人やない人など様々な人がいるサークル等の仲間」の割合が11.8%となっています。

回答者数 = 17



【問81で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方におたずねします。】

問85 あなたが行っている(行っていた)運動やスポーツの種目は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「ウォーキング」の割合が54.3%と最も高く、次いで「水泳」の割合が26.1%、「ランニング・マラソン」の割合が21.7%となっています。

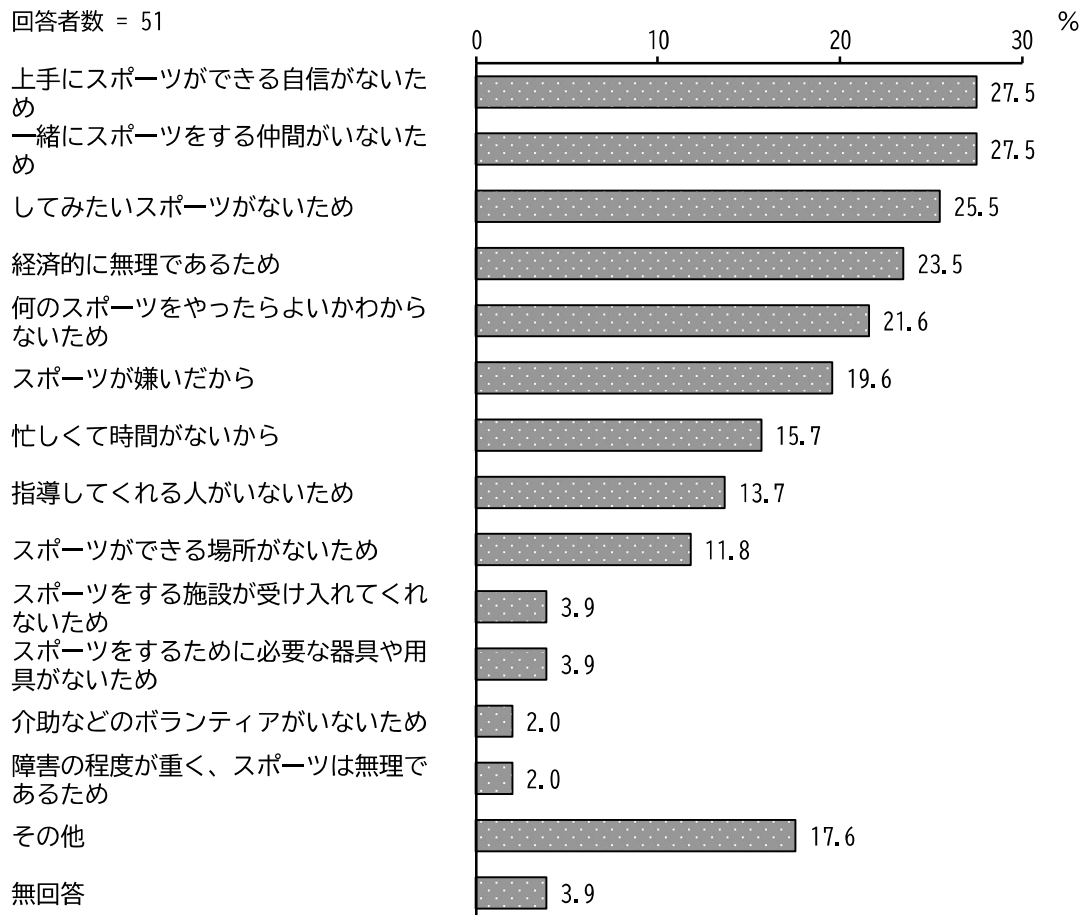
回答者数 = 46



【問 81 で「2. していたが、今はやっていない」又は「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○をつけた方におたずねします。】

問 86 あなたがスポーツをしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「上手にスポーツができる自信がないため」、「一緒にスポーツをする仲間がないため」の割合が 27.5%と最も高く、次いで「してみたいスポーツがないため」の割合が 25.5%となっています。

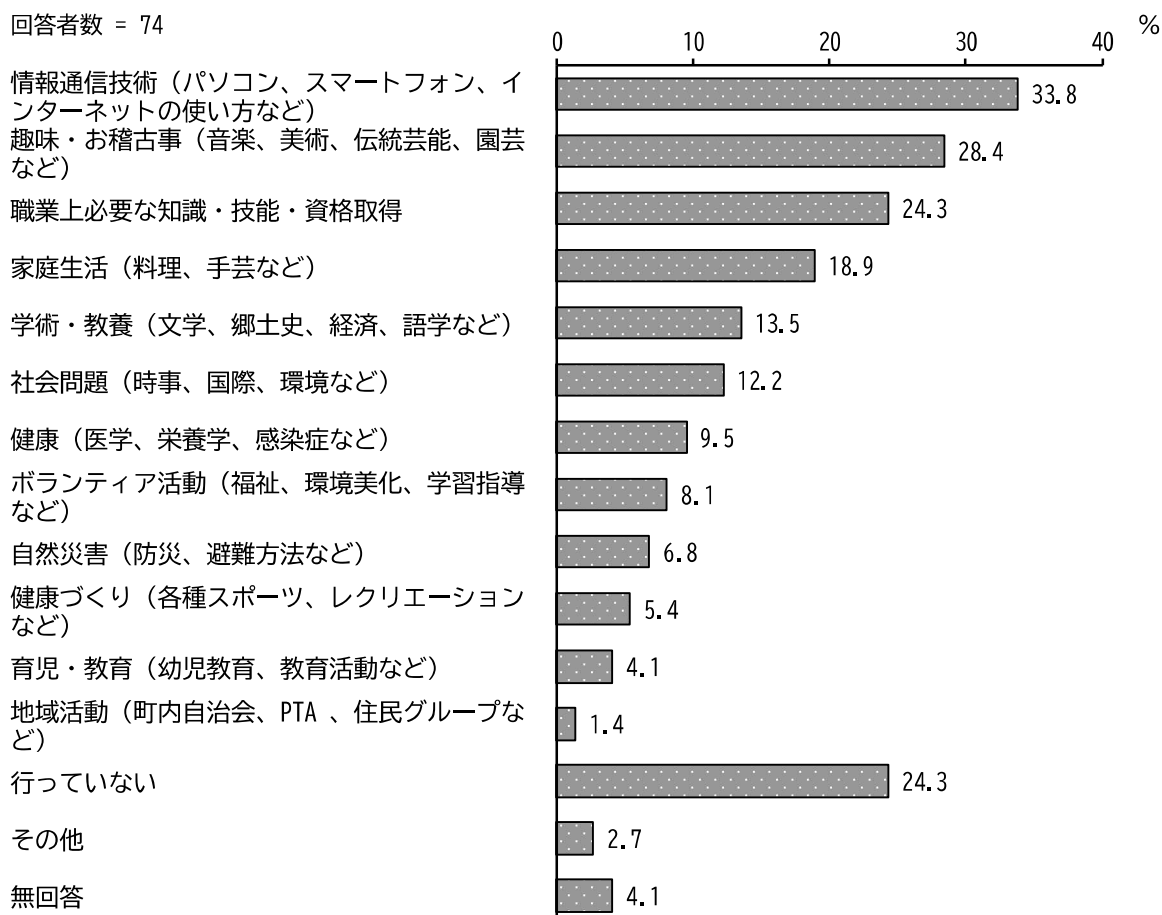


(13) 趣味や教養などの生涯学習活動について

問 87 次の選択肢は、趣味や教養などの、生涯学習に関する活動といえるものです。あなたが行っている（行っていた）活動は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

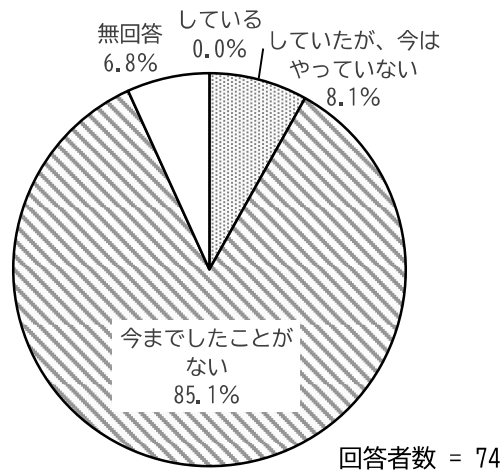
「情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など）」の割合が 33.8% と最も高く、次いで「趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など）」の割合が 28.4%、「職業上必要な知識・技能・資格取得」、「行っていない」の割合が 24.3% となっています。

回答者数 = 74



問 88 あなたは、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講したことがありますか。(学校に通っている方は、学校の授業を除く)
(○は1つだけ)

「今までしたことがない」の割合が85.1%と最も高くなっています。



【問 88 で「している」と回答した方におたずねします。】

問 89 あなたは、どのくらいの頻度で生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講をしていますか。(○は1つだけ)

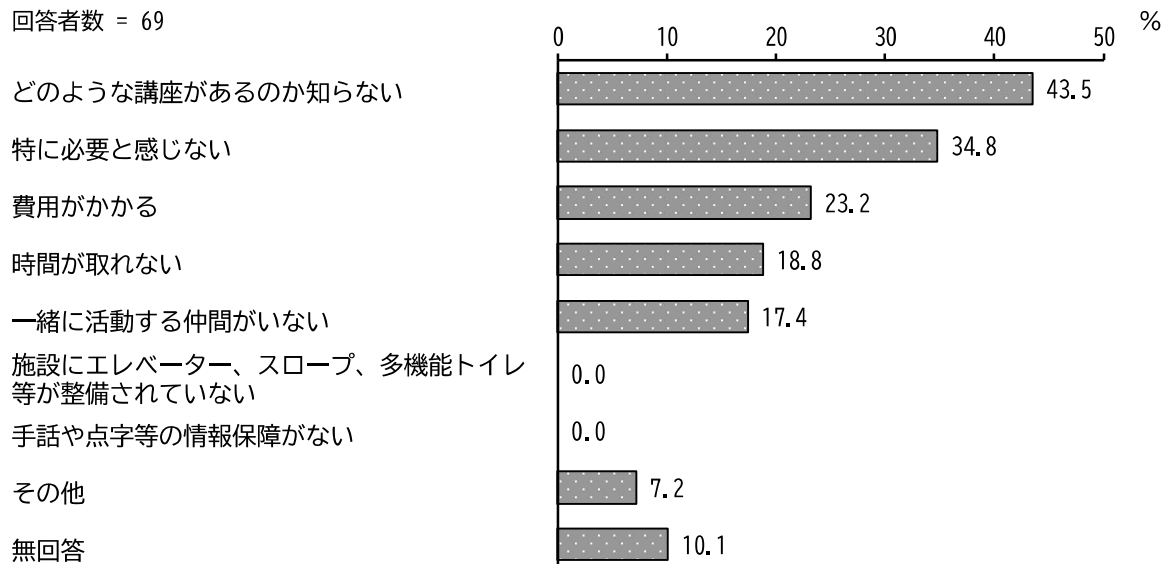
有効回答がありませんでした。

【問 88 で「2. していたが今はやっていない」または「3. 今までしたことがない」と回答した方におたずねします。】

問 90 あなたが趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座を受講しない理由は何ですか。

「どのような講座があるのか知らない」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「特に必要と感
じない」の割合が 34.8%、「費用がかかる」の割合が 23.2%となっています。

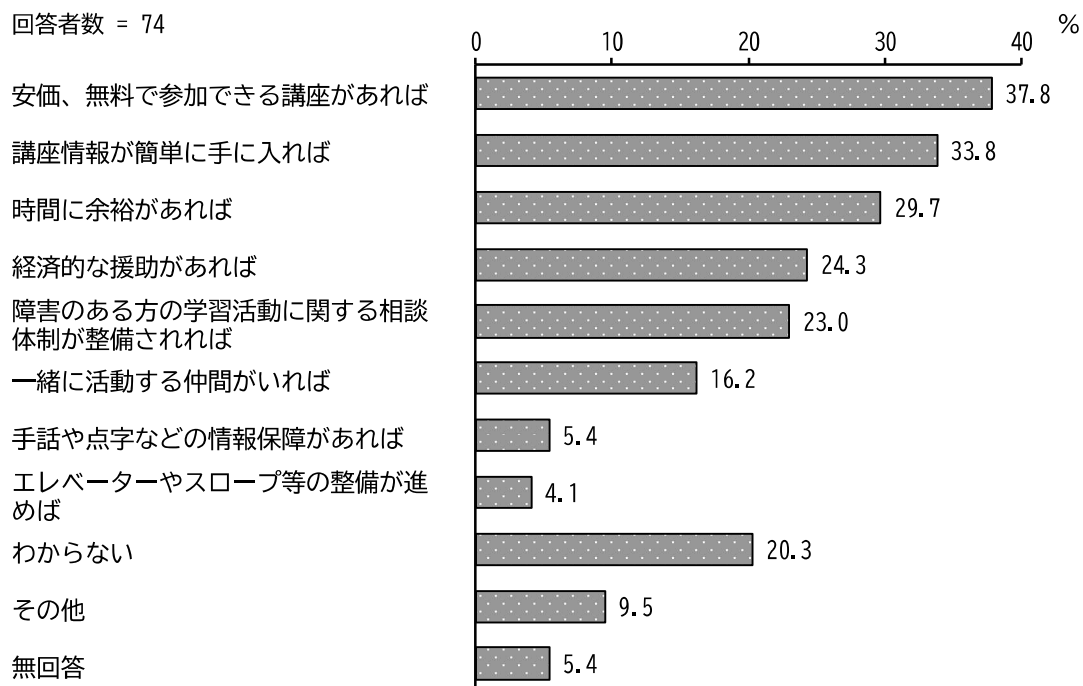
回答者数 = 69



問 91 今後、障害のある方が、趣味や学習活動のため、生涯学習センター・公民館等で実施されている講座の受講を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「安価、無料で参加できる講座があれば」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「講座情報が簡単に手に入れば」の割合が 33.8%、「時間に余裕があれば」の割合が 29.7%となっています。

回答者数 = 74



(14) 自由意見

障害福祉サービスや行政の取組について、何かご意見やご要望がありましたら、なんでも書いてください。

全部で 24 件の意見がありました。

| | 分類 | 件数 | 割合 (%) |
|----|------------|----|--------|
| 1 | 福祉サービス | 2 | 8.3 |
| 2 | 医療・健康 | 1 | 4.2 |
| 3 | 生活環境 | 0 | 0.0 |
| 4 | 雇用・就労 | 4 | 16.7 |
| 5 | 将来について | 3 | 12.5 |
| 6 | 経済事情・経済的支援 | 2 | 8.3 |
| 7 | 行政・制度 | 8 | 33.3 |
| 8 | その他 | 4 | 16.7 |
| 合計 | | 24 | 100.0 |

◆意見の概要 ※紙面の都合により、趣旨を損なわない範囲で意見やその内容を変更している場合があります。

①福祉サービス

| 意見 | 最新の診断名 | 年齢 | 性別 | 回答者 |
|--|------------|-------|----|-----|
| <p>私は 25 才の時に ADHD の診断を受け、その後受給者証・自立支援医療・精神障害者保健福祉手帳等申請の為、緑区保健福祉センターを年に 1 回は来訪しております。25・6 歳の頃と比べて現在は少し対応が良くなりましたが、(当時)自立支援・障害者手帳の新規申請を担当していただいた 50~60 代ぐらいの男性に「多分(障害者手帳)申請は通らないと思います」と勝手に判断されました。精神障害の診断をもらって心が辛い状態なのに、なぜ勝手に判断されなきゃいけないのか、非常に腹だたく感じました。(その男性はすでに居ないと思いますが…) 現在はこのような出来事はないと思いますが、この先このような差別的な発言がないことを願います。他には居宅身体介護・居宅家事援助をしている)福祉サービス事業している会社(ヘルパーさん)の方に「そんなことでいちいちメモをとらない」とあるヘルパーに暴言をはかれた事が有りました。メモを取ることは個人の自由ですし、初対面で緊張している中で自分なりに頑張ろうとしていたのにやる気がなくなりました。この会社だけではありませんが、発達障害の当事者でもヘルパーにたいして不快を感じた・変に気を遣う時があるという声を聞きました。ヘルパーさんなりに努力していると思いますが、もう少し勉強や精神障害当事者たちの声に耳をかたむけてほしいです。</p> | 注意欠陥・多動性障害 | 30 歳代 | 女性 | 本人 |

②医療・健康について

| 意見 | 最新の診断名 | 年齢 | 性別 | 回答者 |
|--|-----------------------------------|------|----|-----|
| 適切な病院やクリニックをしてくれるサービスを充実してほしい。Webで回答できるようにしてほしい。 | 高機能自閉 高機能広汎性発達障害 注意欠陥・多動性障害 | 30歳代 | 男性 | 本人 |

③雇用・労働について

| 意見 | 最新の診断名 | 年齢 | 性別 | 回答者 |
|--|------------------------------------|------|----|-----|
| 過去の職場での「差別やいじめ」が一番つらかったです。今でも夢を見る位です。 | 自閉症・自閉的傾向 広汎性発達障害 | 60歳代 | 男性 | 家族 |
| 仕事を探す手助け（支援） | 高機能自閉症 高機能広汎性発達障害 注意欠陥・多動性障害 | 30歳代 | 男性 | 本人 |
| ・障害年金を受給しているが、物価の高騰で生活費が苦しい。 ・A型の就労継続支援を探していたが、どこも週5日の通所が前提の事業所ばかりで、結局B型の事業所を選んでしまった。ハローワークの求人でも週5日未満はあるのに、A型の作業所は週5日ばかりというのは納得がいかない。 ・車の運転ができないので実家に帰る事が出来ない。実家は車が無いと生活出来ないような地域なので、実家に帰ると「足」が無くなってしまう。なので、千葉市で自立していきたいが、就労へのハードルは高い（障害者に対する偏見・差別など）と感じている。 | 広汎性発達障害 | 40歳代 | 男性 | 本人 |

④将来について

| 意見 | 最新の診断名 | 年齢 | 性別 | 回答者 |
|---|-------------|------|----|-----|
| ・息子は20才の知的障害のないASDです。中学生の時に周りになじめず不登校、ひきこもりを経験し本人も家族も大変辛い時期もありましたが、佐倉市から千葉市へ引っ越し、医師の診断カウンセリング、千葉市地域ひきこもりセンターの支援を受け今は就労移行に通い就職を目指せるまで回復してきました。千葉市は行政の支援がかなり充実していると思います。ただ情報やしくみを自分から調べて行動しないとなかなか知らないまま放置されてしまいます。支援学校などに通っていれば違うのかもしれませんが、ASDの場合、障害に気づかれにくく生活は基本的に何でも出来るけど他人とかかわる事が難しいため、この先の就職や親がいなくなった後の事をとても心配しています。「チャレンジドオフィスちば」の取り組みも就労移行の方から聞いて知りました。成人してしまうと支援がなくなってし | 自閉症スペクトラム障害 | 20歳代 | 男性 | 家族 |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| <p>まう、それほど重度ではない ASD の人にとってはとても良い制度だと思います。あまり周知されていないのはもったいないです。なかなか理解するのが親でも難しいため、気軽に将来の事などを相談できる場所が欲しいです。例えば、生活は 1 人でも出来るけれど、手帳の更新など行政の手続きや困っている時にサポートしてくれる制度が欲しいです。「成年後見制度」は少し敷居が高く感じます。グループホームがそれにあたるのかもしれませんが本人は嫌がり自宅で生活したいそうです。基幹相談事業所とは一応つながっていますがとても忙しそうで、支援計画もセルフで行っています。</p> | | | | |
|--|--|--|--|--|

⑤経済事情・経済的支援について

| 意見 | 最新の診断名 | 年齢 | 性別 | 回答者 |
|---|----------------------------------|--------------|-----------|-----------|
| <p>障害者の賃金が低いいため、一人暮らし（今は実家）をすると不安になる。家賃を安くする法律があるとうれしい。</p> | <p>自閉症スペクトラム障害 アスペルガー症候群</p> | <p>30 歳代</p> | <p>男性</p> | <p>本人</p> |
| <p>この年齢まで基本的に親がかりで生活してきましたが、親自身元から収入が多いでもなく、年も 65 を超え、祖父の遺した貯金を切り崩しながらの生活で、先ごろその貯金も使い切り、いよいよ経済的破綻が目前となりました。自分もアルバイトの身で働き方改革で残業を禁止されてからは収入が大幅に減り、貯金が減って行くのを止められずに居たくらいなので、これ以上の収入向上は難しく、さらにはストレスによる頻尿（←体質的なものとのこと。ストレスを減らせと言われても…）等で現職の継続すら怪しい有様です。何とかすべく市発達障害者支援センターや障害者職業センターで相談を重ねてきましたが、具体的ななにかがしには繋がらず…。今年ももう一度仕切り直してあがいてみるつもりですが、正直何がどうなればうまくいくのかも判らないので何とも言えません。経済的に将来行き詰まるのは前々から分かり切っていたことではあるのですが、「何とか働ける仕事を見つけてお給金もらえた良かったね」以上の事は何もできず。自身の経済的自己管理についても十分とも言えた為、「お金の管理できますか?」「はいとりあえず大丈夫です」で初めの話が終わった後、何らかの具体的な支援を受ける事もなく結果、困っている状態です。経済的側面での長期的・具体的な支援指導というか、経済的な人生設計支援的なものがあつたらもう少し何とかなったのだろうか…と思います。（←行政・福祉の範疇かは分かりませんが）今後自分がどうなるのかも想像できない状況ですが、何とか生きていきたいので出来る限りがんばって行くつもりです。僕のような人間を少しでも助けて頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。</p> | <p>アスペルガー症候群</p> | <p>30 歳代</p> | <p>男性</p> | <p>本人</p> |

⑥行政・制度について

| 意見 | 最新の診断名 | 年齢 | 性別 | 回答者 |
|--|-------------------------------------|-------|----|-----|
| 公園、駐車場の注意書きの看板等に対し、字だけでなくイラストで示す内容を入れてくれるとさらに具体的でわかりやすい。 | 自閉症スペクトラム障害 注意欠陥・多動性障害 | 30 歳代 | 男性 | 本人 |
| どんなサービスが自分の対象になっているのかわからない。講座などはおもしろそうなので参加してみたいと思う。 | 自閉症スペクトラム障害 | 30 歳代 | 女性 | 本人 |
| 健康保険証とマイナンバーカードの一体化を中止してください。個人情報流出のリスクが高まります。 | 自閉症スペクトラム障害 注意欠陥・多動性障害 | 20 歳代 | 男性 | 本人 |
| 障害福祉サービスを利用する際、本人が移動手段をもっていないと利用が出来ない。Web 面談なども利用できるようにしてほしい。また、本人が毎年書類申請出来ない場合、(現在は親が手続している) 将来が不安です。マイナンバーカードなど活用して自動更新などできるようにならないでしょうか。 | 広汎性発達障害 | 20 歳代 | 男性 | 家族 |
| 行政は形だけでしか動いてくれない。以前、発達障害支援センターで就業支援の相談にのってもらったこともあったが、ちゃんとした説明がなく急に偉い人？と待ち合わせて行ったセンターでいきなりテストとかされてものすごく嫌だった。不信感が出てテキトーに流して一切関わらなくなった。形だけでちゃんと相談にのってくれないならやらないでほしい。手帳は持っているが、会社には言わず、普通の人として働いているし、助けてほしくても結局は誰も手をさしのべてくれない。もっと相談しやすければ良いが。事業所も作業内容のレベルが低すぎて行く気になれない。普通に暮らしたくても普通に暮らせないと思う。お金もないのに。 | 自閉症スペクトラム障害 広汎性発達障害 アスペルガー症候群 | 20 歳代 | 女性 | 本人 |
| 精神障害者手帳と発達障害手帳を分けて発行してほしい。本人確認書類のため、精神障害手帳をいろんなところで使えるようにしてほしい。障害者の差別に対する行政の理解がとぼしい。障害者でなくても差別は良くないこととして理解する必要がある。障害者差別を正す差別をされている気がする。区別と差別を理解してほしい。 | 広汎性発達障害 | 20 歳代 | 女性 | 本人 |

| 意見 | 最新の診断名 | 年齢 | 性別 | 回答者 |
|--|-------------|-------|-----|-----|
| <p>行政サービス・制度のことが好きで、転入した自治体のサービスについてはよく調べ利用させていただいております。私自身はこういう手続きや手間をかけることが苦でなく、楽しんで一人でこれらの行為と処理できるので問題はありませんが、友人の SNS での反応を見ると、多くの障害者は各種制度の理解利用で大きくつまづいている様子があります。福祉には頑張ってくれているという思いもありますが、政治や行政への指導をするマトもでない人たちの価値観、生きてきたリアルがズレすぎていると思います。家族と呼べる人や支えてくれる人がいない人を救う手段、制度で補うことが日本の障害者の支援に必要なだと考えます。障害者としては完全オンライン選挙を願います。</p> | 自閉症スペクトラム障害 | 20 歳代 | その他 | 本人 |

⑦その他

| 意見 | 最新の診断名 | 年齢 | 性別 | 回答者 |
|--|-------------|-------|----|-----|
| <p>・障害福祉サービス (①~⑳) については、当事者本人が何に該当しているのかがまずもって分かりませんでした。いろいろな障害者へのサービスが混ざり合っ提示されており、詳しくない立場の者からすれば答えるのが困難でした。対象者ごとに分けて記載するなど一目瞭然の形にしてほしいです。</p> | 自閉症スペクトラム障害 | 20 歳代 | 男性 | 家族 |

